京城日報

一月二十六日夕刊（朝夕併せて八頁）

第四十一帝國議會

衆議院（二十五日）

▼豫算委員總會

廿五日午前十時三十五分開會、前日質問を保留せる小川郷太郎氏（新政）政府の產業政策根本方針、食糧自給自足策如何と問ひ之に對し

▲原首相　は產業政策は常に研究を怠らず其確立を期し居れり食糧の自給自足は出來得る限り其實を擧げ度く考へ居れり次に小川氏は西伯利亞出兵問題に就き之迄特に秘したる理由を質せるに對し

▲田中陸相　過般概要を公表したり特に秘したる譯に非ずと答ふるや小川氏更に質問を轉じ八年度豫算は財界の沈衰を見越て編成せりと云ふも豫算面に表れ居らず編成當時と今日とは物價其他に關し變化を生じ居れり從つて豫算の數字に相當の改正を加ふる必要ありと認む政府の所見如何と問ふ首相藏相之れに答へ之にて小川氏の質問は打切りとなり次いで

▲下岡忠治氏（憲政）　米價騰貴の際のみならず暴落の際に外米專賣論を主張する農相の意見を讀み上げ本會議に於ける農相の說明を難じ現時の米價が四十錢前後を數箇月間持續するは假令數量に不足無きも國民生活上大不安を與ふるものなり現內閣は之れを認めざるかと問ふ

▲原首相　價格のみを低落せしめんとするは不可なり數量の豐富を圖らざる可らず即ち外米輸入增加の方法等を講じ居れりと答ふるや下岡氏は現在以上何等の施設を爲さず來るべき端境期に如何にして危險を防止するや之れに對し首相外米輸入策を公表するは不可能なれど要するに之れに努力しつゝありと答ふ下岡氏更に外米輸入の見込みに就き說明され度しと述ぶるや

▲野田遞相　は外米商人の自由輸入許可計畫は最近の調査に依れば百三十四萬八千九百六十三石なりと答辯し之れにて零時十五分散會（東京特電）

◇小露過激ヱ市占領

トロツキー戰はずして露都を退却せり勞働者は十六日以來同盟罷業を爲し小露西亞の過激派はエカテリノスラヴを占領せり（ストックホルム電報）

◇過激煽動者逮捕

某所著電＝過激派煽動者ラデックは十九日伯林に於て逮捕せられたり（東京特電）

◇伊集院大使着巴

其筋著電＝伊集院駐伊大使は廿三日巴里に着せり（東京特電）

◇支那人損害調査

青島來電＝北京政府は青島在住の支那人にして日獨戰爭に依つて蒙りたる者の損害額を調査報告すべき旨青島商務總會に訓電せるが一月十五日迄に同總會に申告せられたる損害額は一千萬圓以上に達せりされど右は何れも自己に都合よき申告なれば固より眞面目に受取り難きものなり（東京特電）

◇東洋諸港行運賃

米國船舶管理局公表＝東洋諸港行運賃（一月二月中）左の如し（紐育電報）
▲東洋、日本、支那行＝噸二十弗▲馬尼剌行二十五弗▲新嘉坡行三十五弗▲孟買行五十六弗

◇米禁制品中加入

紐育電報＝紐育稅關長は二十三日米を再び禁制品目中に加へたる旨公表せり（東京特電）

◇兩陛下御避寒

天皇皇后兩陛下には廿八日午前九時四十分東京驛御發葉山に御避寒の旨廿五日仰出されたり（東京特電）

◇高松宮御避寒

高松宮宣仁親王殿下には二十五日午前八時四十分東京驛御發小田原に御避寒遊ばされたるが同驛には勅使河原侍從以下文武官多數御見送り申上げたり（東京特電）

◇教員地方吏員增俸計畫

政府は中等敎員及び地方吏員に對し一般官吏の臨時手當同樣增俸乃至は臨時手當を支給すべく附加稅低減の相當緩和を圖らんとする計畫にて其後着々準備中の由なるが更に中等敎員に止らず此際小學校敎員に對しても市町村費を以て相當の臨時手當を支給すべく之が財源として當分の間附加稅の低減を多少緩和すべく籌策中なるが內務文部兩省の協議は既に纏まり居れりと但し其種類限度等に就いては研究中にて近く法律案として議會に提出せらるべし尤も市町村に於ける低減緩和は全く當分の間に止まるものにして臨時手當の中止と共に中止せらるべしと（東京特電）

◇南滿製糖總會

南滿製糖會社は廿五日午後二時より生命保險協會に於て定時總會を開き年一割配當案を可決し取締役二名の補缺は村井啓太郎、岡田勇二兩氏當選監査役全部改選は擬哲氏新任他は皆重任し同三時散會せり（東京特電）

◎各植民地の通信事業

吾が各植民地乃ち朝鮮臺灣樺太滿洲に於ける通信收入の收支並に收益狀態に付遞信局の調査を聞くに左の如く收入は朝鮮最も多きも然も土地の面積人口その他より稽査すれば比較的少額なるに似たり比較表左の如し

▲通信收入（前年度）

地別	收入額	百分比例
朝鮮	四、四九一、〇八七圓	四七
臺灣	二、二二九、〇七八	二三
樺太	三二二、四四七	三
滿洲	二、六〇六、八〇九	二七

約五割を朝鮮にて占め居れるを見るべし又支出は

▲通信事業支出（前年度）

地別	支出額	百分比例
朝鮮	三、三二八、一九七圓	五二
臺灣	一、五九八、〇一二	二五
樺太	一五九、四六九	三
滿洲	一、二六二、九五一	二〇

乃ち朝鮮は收入四十七の割に對し支出五十二にて比較的支出の嵩み居れるを見るべく臺灣も支出は收入率より多し唯關東州は二十七の收入に對し支出は二十を示し收支狀態好調なるはその區域が狹少なるも交通利便のため之れを朝鮮臺灣滿洲並に鐵道沿線のみに付頭の如き僻陬地を有する方面と同一視し難きためなるべし從つて收支差引益金の計上は左の如し百分率に於て滿洲最も好調なり

▲收入の超過（前年度）

地別	收入超過額	百分比例
朝鮮	一、二〇九、一一七圓	三六
臺灣	六四一、〇六六	一九
樺太	一六二、九七八	五
滿洲	一、三四三、八九八	四〇

◎國境貿易　何れも增加

大正七年一月以降十一月に至る鮮國境貿易額及び出入重要品價格を前年同期に對比すれば

▲輸出に於て　七年は豆滿江地方九十萬六百五圓鴨綠江地方四十二萬八千三圓合計百四十一萬八千六百十八圓前年同期は豆滿江地方七十六萬六千百廿八圓鴨綠江地方三十一萬四百三十八圓合計百七萬六千五百六十六圓にして三十四萬二千餘圓の增加を示せり又輸入にありては豆滿江方面は百三十八萬二千二百五十七圓鴨綠江方面六十一萬五千三百三十四圓合計百八十九萬七千五百九十一圓前年同期は豆滿江地方八十二萬七千三百四十九圓鴨綠江地方三十一萬三千九百三十四圓合計百十四萬一千二百八十三圓にして七十五萬六千餘圓の增加を示せり今之等を觀察するに豆滿江地方は逐年著しき貿易の進展を示し日本海橫斷航路の開始滿會線の開通以來漸次繁忙を加へ輸出品にありては最重要品たる牛の二萬五千餘圓の減少を示せる外石油生金巾鹽干魚牛皮米其他衣服類は穀類鴨綠江地方は大豆異數の增進を示せる外豆滿江地方と大差なし又輸入にありては豆滿江地方は木材及び皈の四十萬九千餘圓最も大にして

▲前年に比し　二十五萬餘圓の增進を示し粟之に次ぎ其他穀類は總て好況なり鴨綠江地方は人蔘の二十六萬四千餘圓を最大とし前年に倍加し粟木材之に次げるが豆滿江地方は槪して優勢なり

◎國際法は蹂躪されず

平南第一部長　篠田治策氏談

平安南道第一部長篠田治策氏は今回浦鹽派遣軍司令部附を命ぜられ東上の途次二十五日夜入城せるが氏の車中談に曰く

自分の今度の役目は現職の儘在浦鹽大谷派遣軍司令部附を命ぜられたので一寸陸軍の方から借用された～形である又總督府の方でも別に差支へ無しとあつて一先づ東上することになつた譯であるが浦鹽に行つてからの仕事又は滯在すべき期間は如何程であるか判らぬ併し自分が嘗て

▲日露戰爭當時　乃木軍の司令部附で從軍した經歷を持つて居る等の點から判斷すると今度も矢張り日露戰役當時と等しく國際法に關與すべき役割を仰付けられるだらうと私かに考へて居る國際法と言つても海洋の自由とか國際聯盟とか云ふ大きな問題とは違つて大抵戰法とかと言ふ位な程度のものである今度の歐洲戰爭は舞臺が大きかつた丈け夫丈國際公法上の重大問題がいくらもある獨逸が占領地域において非戰鬪員を虐殺せしが如き或は白耳義中立地帶侵略の如きに就ても彼等は相當

▲國際法を無視　して居

國際法上の解釋を附し決してないと言明してる斯くの如き場合多くは所謂水掛論に陷り易いが何等か其間に證據物件と言ふ樣なものが殘つて居れば解決は難事でない獨逸の橫暴は辯解の如何に拘らず捕虜の手帖等による實戰者の僞らざる告白によつて斷定を下すことが出來る獨逸は斯くの如く國際法を無視した背信行爲を敢てしたが爲めに却つて各國から怨みを買つた次第で米國の如きは潛航艇の無警告擊沈等によつて蹶起したのは言ふ迄もない元來獨逸は白耳義中立地帶の侵略は自己が侵略せずんば佛蘭西が當然之を敢てするは明瞭である又非戰鬪員

▲婦女子の虐殺　は彼等が軍に對して抵抗するからだと辯明してる其他金錢の取立の如き物資の徵發の如き軍其のものに必要なるものとして當然の責任者が之を爲せば何等違反行爲とは目することは出來ぬが只軍隊が個人的に金品を徵發するが故に掠奪になるのである日淸戰爭當時日本の陸戰的行動に對しては芳賀博士の佛蘭西文による說明發表によつて歐米人は日本の態度を非常に嘆賞し國際法はクリスチャン國の信義國に來らずんば了知されざるものと思ひしに日本は我等キリスト敎國以上天晴れ正義の國だとあつて

▲日本の聲價は　一時に昂がり條約改正の如きも案外容易に解決を告げた樣な譯であつた國際法は今度の戰爭によつて蹂躪された樣だけれども決して然うではない之れが爲めに却つて國際法は其の進步を見るべく充分に其の權威を發揮するとが出來ると思ふ之れと同時に國際法陸戰法の如きは實際に當るもの、心得置くべきことで軍票の如き一種の金品取立行爲の表明に過ぎないのである之れで講和の時に軍票の發行金高は對手方に仕拂はせることも出來ると云ふた樣なものである

◎滿鐵時間改正

南滿洲鐵道會社にては二月一日より列車運轉時間を改正すべく計畫されつゝあるが今其の大要を聞くに時刻改正中安奉營口撫順線等の各支線は別に大なる變更はなく殆んど以前同樣なるも本線は本年度の貨客激增に鑑み大連長春間に上下各一列車を增加する事となりたれば乘客の利便尠からざるべしと尚ほ從來奉天長春間は臨時列車の意味に於て既に運轉を見つゝありたるものを更に大連にまで延長したるものなれば新に一列車を增加したる程には影響なかるべし又貨車方面は其の性質客車とは全然同一に見る能はずとは云へ奉天驛にては列車の增加を見るに至るべき豫定なれば或は豫期以上の好成績を得ずやも計り難く殊に此程來の貨物難を基礎として調査を開始したるが是れが不便を除去調節すべき方針の下に改正を見たるものに付從來に比すれば大いに面目を改むるに至るべく豫想されつゝあり

◎朝鮮統治狀況（八）

大正七年に於ける諸般施設

司法（下）

監獄に於ける事務の改善は主として監獄の設備に負ふ所多きも亦一面直接行刑の衝に當る看守の能率を增進を圖るは實に喫緊の事に屬す、然れども各監獄に於ては定員寡少にして新任の看守に對し一定の期間必須なる敎習を施す能はず直ちに實務に就かしめ唯纔に其の他の時間に於て不規則なる敎習を行ふに過ぎざりしを以て

▲獄務の刷新上遺憾の點　少からざりしが大正七年五月訓令第二三號を以て朝鮮總督府看守敎習規程を定め看守敎習所を西大門監獄に附設し看守の定員外に敎習生若干名を置き三箇月間入所せしめ以て看守に必須なる學科及び實務の敎習を受けしむることゝし一箇年約百八十人を敎習する豫定なり、而して同年九月より開所し同十二月既に第一回の敎習を了へ引續き第二回の敎習生に入所を命じたり、

▲刑事事件の增加に伴ひ　遞加の數は逐年大正七年各監獄に於ける在監人の趨勢を示し前年に比して增加せるは洵に已むべからざる事に屬す、而して本年一月より十月迄の一日平均在監人員は一萬二千三百八十一人にして之を前年同期間に比すれば六百三十六人を增加す、然れども囚情は一般に靜穩にして敎誨及び敎育の效果は作業の普及、給養衛生の改善其他各般處遇上の施設と相待ちて漸次行刑上佳良の成績を示せり、因に十一月迄に假出獄を許可したる人員六百人にして前年同期間の人員に比し約三倍に相當す

警察（一）

大正七年末に於ける警察機關は警務總監部及び各道警務部の外警察署九十九、憲兵分隊七十八、憲兵分遣所九十八、計二百七十五にして現在定員內地人巡査二千〇七十九人、朝鮮人巡査及び巡査補三千三百六人、憲兵上等兵二千五百二十五人、憲兵補助員四千七百四十九人計一萬二千六百五十九人を以て全朝鮮に於ける人口一千六百九十六萬八千九百九十七人、面積一萬四千三百十二方里に對する

▲警察各般の執行及事務　に當れるつゝあり、即ち警察、憲兵を合して一人の擔當は人口一千三百四十人面積一方里一三に相當し其數に於て甚だ多からずと雖も漸次改善を施されてより既に八年此の間鋭意警察の普及に努めたると人文の進步交通機關の發達とは年と共に一般警察事務の繁劇複雜を來し內外の行務其の他に對し改善を要すべきもの尠からざるを以て管轄區域の不便なる箇所は隨時に變更し又本年三月巡査及び巡査補の服務規程を同七月警察官勤務書を同七月警察服制を同十月警察服裝規則を制定發布し以て

▲事務其の他の改良進展　を圖り又或は本年三月及び五月の兩期に內鮮人警察部の講習を施行する等專ら時勢に順應すべき措置を講じたるを以て其の成績良好なるものあり、本年中某安警察の一般狀況は稍良好の域に進み兇暴なる團體的賊徒の影を沒し慘虐なる犯罪は漸く其の數を減ずると共に地方紛擾事件の如きも今や殆ど其の跡を絕たむとし民心頗る靜穩なりき

◎京城金融狀況

京城商業會議所の調査に據る京城客月中の金融狀況を聞くに前月以來閑散の狀態を持續し來りし金融界は大節季に至りたる事とて決濟資金の需要逐日增加の度を加へたると地方廻送期の買附資金並に工事資金等の需要を喚起し一時移動繁忙の狀を呈したりしが米豆穀の移出圓滑ならざりし爲め此の方面に對する資金の需要多からず大勢は依然緩慢にして何等波瀾を見ず極めて平靜裡に越月せり今市內九銀行の殘高を見るに預金四千九百四十萬二千三百七十六圓貸出四千百三十萬二千七百七十六圓にして前月に比し預金に於て五百七十七萬二千四百三十一圓貸出に於て三百九十一萬八千八百二十一圓を何れも增加し更に之を前年同期に對比すれば預金に於て二千零十三萬二千二百四十七圓貸出に於て一千三百九十八萬五百三十五圓の孰れも增進を示せりと

◎中旬鮮鐵輸入

一月中旬に於ける鮮鐵運輸收入の槪算を聞くに客車收入は二十三萬四千七百圓貨車收入二十五萬零七百圓合計四十八萬五千餘圓にして前年同期に比し十二萬九千圓の增加を示し一日一哩收入は四十四圓零六錢なりと

◎京畿團體貯蓄

入澤京畿道第一部長は管內府尹郡守に對し團體貯蓄に關し……は勸儉貯蓄の奬勵に關しては屢論告或は訓令を發し一又之が運用に關しては……せしこと一再ならず故に府郡に於ては

▲適切儉宜の奬勵　を努めつゝあるべしと雖も之れが實績に徵するに各府郡に於ける大正三年以降團體貯蓄の消長狀態は大正六年末現在は團體數三百四十九人員十四萬一千五百六十八人金額二十四萬六千八圓にして共百分の八一人の道內總人口に比して十三錢九厘に過ぎず殊に貯蓄の增加率は近年次第に低下し殆んど睡眠の狀態にあるは寔に遺憾に堪へざる所なり然るに農家の經濟狀態を察するに近年農作物は豐穰にて而かも

▲穀價未曾有の騰貴　を告げ加ふるに副業に依る收入は著しく增加したる等の關係にあり公課其他必要の支出をするも尚相當の餘裕を有する狀態なるを以て凶歉其他不測の費途に備へざる可らず將又農家以外の者にありては各其職を勵み奢侈を戒め餘財を蓄積して一家の安固を圖る心懸けなかる可らず然るに近來都鄙の別なく奢侈の風習漸く增長し餘財あるに任せて浪費する者多き傾向あるは寔に憂心に堪へざる所なり今や農家は農產物の收入に依り相當の財本を儲けたる時恰も

▲新年末始に際し　金錢を徒費するの時俊及之が手段方法の適否に依り貯蓄の消長に關係すること大なるを以て殊更に之を奬勵し以て團體貯蓄の奬勵に就ては勿論相當の計畫を定めざる可らず然れども此時貯蓄額の多きを期するが爲め民力に堪へざる企畫を爲し反つて生產資金の缺乏を生ぜしめ地方の發達を阻害するが如き事なきに留意されたし

◎朝鮮運輸聯合會

來る二月三日例により京城に於て朝鮮運輸聯合會第十二回定期總會を開催する由なるが京城管理局にては一月三十一日より二月三日まで各等五割引の往復乘車券を發賣する由

◎專用輕鐵布設認可

朝鮮製紙株式會社より申請中の新義州停車場より同社製紙工場に至る延長一哩二分の專用輕便鐵道敷設の件は一月二十四日附を以て認可されたり

◇國葬豫算哀悼文決議は議會開會中二回

衆議院書記官長　寺田榮氏談

衆議院に於て國葬豫算を附議し且つ哀悼文を決議せしは余の記憶に依れば第八議會に於て故大勳位北白川宮能久親王殿下薨去の際と今回李太王殿下薨去との二回にして伊藤、大山兩公の國葬當時は議會閉會中に在りしを以て其運びに至らざりしが要するに這は議會として洵に重大なる事謂ふを俟たざるところなり（東京特電）

◎白川中將動靜

西伯利亞出張中の陸軍中將白川義則氏は二十七日午前七時四十八分龍山驛着列車にて入城すべきが午前中宇都宮軍司令官高島第十九師團長の官邸を歷訪轉じて總督府に山縣政務總監その他憲兵隊司令部に兒島中將を訪問午餐は憲兵隊司令官の饗應を受け午後一時より四時まで景福宮朝鮮步兵隊美術品製作所を巡覽午後六時軍司令官の晩餐會に列し司令官邸に一泊二十八日午前八時五十六分龍山驛發列車にて出發すべし尚隨行官は陸軍省課員步兵少佐古川三郎步兵大尉野田豐砲兵大尉德田速雄の諸氏なり

▲司令官晩餐會

宇都宮軍司令官は二十七日午後六時より官邸に晩餐會を開き左の諸氏を招待すべし
中將白川義則、步兵少佐古川三郎、步兵大尉野田豐、砲兵大尉德田速雄、中將兒島惣次郎、少將內野辰次郎、同村田信乃、同佐藤恒丸、同將趙東潤、參謀長平、少將趙性根、中佐栗原直平、學務局長、關屋貞三郎、中佐山本鶴一、同平學安次郎

人事消息

▲矢野義二郎氏（遞信局監理課長）二十七日午前八時四十分南大門驛發列車にて東上二月下旬歸城すべし
▲佐倉昇氏（大邱聯隊附中佐）廿六日朝出城
▲黑江大尉　同上
▲鷲尾旭邦氏（朝鮮及滿洲社長）政況視察の爲め東上中の處廿五日歸城

八面鋒

◆何事にも平等公平を叫ぶ露國過激派が、漸次專制的に化し、世界平和を絕叫する英蘭が、多年の目的を貫徹せんとして、獨立共和を宣言し、滔々として醜る共和主義の歐洲の一角、葡萄牙は王政を復古し、前王マニエルを皇帝に推す、之をこそ眞に世は樣々とこそ申すべし。

◆葡國の王政復古は、今日此際吾人に快感を齎し。國際聯盟、世界永遠の平和を唱道する英國が、國內分裂を傳ふるは奇觀なりとせず、何れも前日よりの行がゝりを實行せりと云へば、其迄也。然し乍ら其を實行せしむべき、機會の何れにありしやは、歷史家のみならず、政治家の研究を要すべき也。

◆歐洲の過激派は其の主義を東洋に傳染せんとすと、傳染は西班牙感冒にて最早充分也、此の上は斷然お斷り申すべし。支那、印度機を見て紛擾を惹起すべしとは危險也。過激派は東洋に正義なる君子國あるを知らずや。歐洲とは聊か其の趣を異にすと知れ。

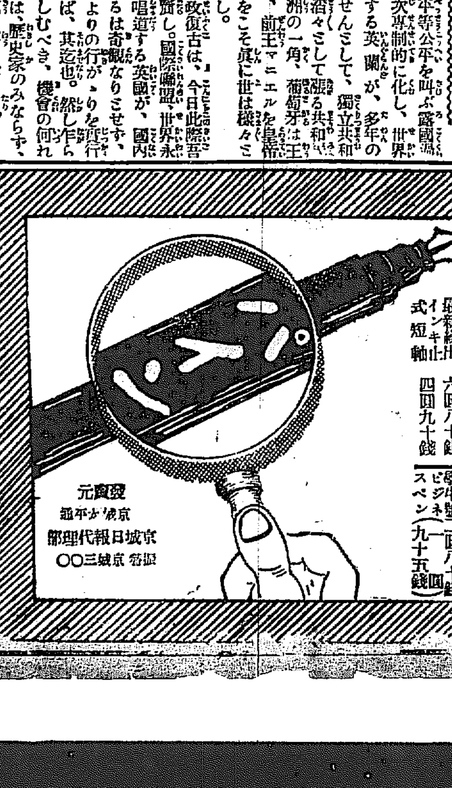
◆ワルデック習志野にて病むと、彼が青島に籠城せしは、彼が故國に對する一片奉公の爲也、恩讐もこれ私怨に非ず、身は捕虜となり、故國の山河は擾亂の巷と化す、彼又憐む可し。

◆故李太王殿下の御葬儀は愈々國葬と決す、內鮮の官民皇恩の厚きに感泣せざるなし。葬儀は死後に關し、宗敎の範圍に屬す、自由を認めざるべからず、然し乍ら我禮に拘束せざる限り、儀式典故彼の俗に重きを置き以て可とすべし、されば彼等は、更に感謝せむ。

△陸軍拂下　被服類其他諸官衙拂下品販賣
和洋衣類メリヤス雜貨商　京城漢江通三ノ三（電話長三三六番）　佐藤古着店

捕雀用極上等絹糸製　カスミ網
前金に限り送料及び代金引換
朝鮮京城永樂町　吉備商會製網部
電話三一四番　振替京城四三一八番
捕雀の時季は今ですカスミ網は小供でも張れます一度に數十羽位は容易く捕れますから晩餐の御菜のみでなく樂みと運動にもなります

蒙古產　曹達灰
東京市麴町區內幸町一丁目六番地　協和洋行
電話新橋


金ペンの氣持よく走る心地と體裁の頗る良い萬年筆はパイン萬年筆に限る

實用向　三圓八十錢
學生號　二圓八十錢
ビジネスペン（九十五錢）
最新綠出金飾　八圓八十錢
最新綠出　六圓八十錢
インキ止式短軸　四圓九十錢

青星印　カーバイド　新荷到著
破格値段を以て販賣可仕候間精々御用命願上候
京城南大門通五丁目八番地　沼木村商會　電話長一三六四番

大日本優等淸酒

品質純良　衛生無害
攝津灘御影町　醸造元　嘉納合名會社
京城本町二丁目廿番地　發賣元　前田酒店　電話一三七三　振替口座四二五番

◎御兄君の御健康を氣遣ひ玉ふ
王世子殿下の御友愛

李太王殿下の御遺骸は今尙咸寧殿西温突に御安置なり李王、同妃、堀公、同妃各殿下には露去以來殿東温突に籠られ孤の上に跪座せられたる儘喪に服し居らるゝが二十四日からは又王世子殿下も温突の人となられ限りなき

▲悲嘆に沈んで居られる、御親戚に當る某貴族の語るところによると各殿下共御食事とては極く少量のお粥を召食る許りで御痛惜の程が推しまつられる、餘り痛々しく萬一御體軀に觸るやうな事があつてはとの心配から今朝(廿六日)典醫の内孝氏が拜診したが幸ひにして何等の

▲御異狀をも認めなかつたと云ふので何れも安堵の胸を撫で御した、典醫は尙王、同妃殿下の拜診を終り御居間を退らうとすると王世子殿下に御出會ひ申したので早速拜診の旨を申上げると殿下には『先づ』と是を制せられ『余は軍隊に於て鍛へた體軀である、三日や四日食事に居ても何んともないが御兄君は平素から

▲御虛弱に渡らせられるから心配である、御兄君の御健康には呉々も注意して見れ、予は心配の餘り唯今御兄君の御居間に伺候せんとするところである』と申された典醫は殿下の御友愛の情厚きに感激しながら『昌德宮殿下には何のお障りも御座りませぬ

へ御安心遊ばさるゝや

う』と申し上げたところ殿下には始めて御安堵遊ばされたもの、如く哀しみの御眉根にも御喜びの色閃いたと云ふ事である、猶王世子殿下には御幼少の時より内地に御育ちあり朝鮮固有の儀禮に御馴れにならぬ結果離れしも朝鮮の

▲古式に依られる事と御躊躇ひになるであらうと側近の者は案じてゐたが事實は是と全く反對で寧ろ何よりも一番好く朝鮮の儀禮を御心得になるので近侍一同何れも感服して居ると云ふ事である

▼王世子御退殿なし　主なき石造殿

王世子殿下は御歸城中例によつて德壽宮石造殿に御起居遊ばす筈なるも御歸城と同時に咸寧殿に入られたる儘御退出なく石造殿には日下御附の人のみ留守居りしこ

◇國葬まで
▽大斂儀と奉下梓宮式

咸寧殿に於かせられては廿六日午後一時より大斂の儀を同午後七時よりは奉下梓宮の式を執り行はせらるべし

▼敬弔者八千

李太王殿下御薨逝と共に大漢門前は京畿南北道地方より道服をつけて多數入城す日々夜敬弔の人々引きも切らず大漢門前の問受付に名刺を差出す者八千に上り殊に内地人の敬弔者多數を占め居れり鮮人側にては京畿道よりは勿論忠淸南北道には曾て李太王殿下の恩寵を蒙れるもの多數あれば同地方より道服を着けて入城し大漢門に慟哭する者頗る多し本日の如きは日曜日の爲めか鮮人女學生等敬弔の意を表する者も多數見受けられたり

◎一宗の敬弔

同宗は故李太王殿下が前大院君と稱せられし時代より李王家との關係淺からぬこと、て宗務院より護國寺澁谷僧正に訓電して管長代理として敬弔の誠意を致すべき旨報じ來りたれば同師は王世子殿下を南大門驛に奉迎二十五日服改めて昌德宮殿下に敬弔を致し更に石造殿に王世子殿下に敬弔の意を表したり

殿下には夜も碌々御熟睡遊ばされぬほど御慨みあらせられて居たと承はつております』

◎故太王殿下御滿悦の笑聲
◇王世子の御婚儀に關して屢々拜聞した◇
如何に其日を待たれしか—某李王職事務官談

李太王殿下が如何に王世子殿下の御慶事を如何に御滿悦あらせられたかに就きて李王職某事務官は語る『李太王殿下は梨本宮家と李王家との御慶事に就いては日夜御婚禮の日の一日も早からんことを待ち侘られて居りました。昨年の葬禮に寺内總督閣下が參宮して王世子殿下及び方子女王殿下の

▽御近狀を言上した際も李太王殿下には滿面に喜色を浮かべられ殊に高事務官、金武官等が方子女王に朝鮮語の御教授を申上げて居ることを言上した時なぞは太王殿下には

御滿悦の笑聲を揚げられました、本月六日にも總督閣下が兩宮家御慶事の爲めに東上の御暇乞ひに參宮した際にも太王殿下には總督が令弟の喪中なるに拘らず態々東上の途につくことは洵に

▽感謝に堪へざる旨仰せあり十七日に閔長官以下東上の人々が御暇乞ひに伺つたときも御婚禮の事に就きて種々御物語りあり御婚禮の日の近づくに隨つて太王

梓宮搬入

廿五日夜大漢門外水生殿より三十人の人夫を以て德壽宮に搬ばれたる故李太王殿下の梓宮大漢門を入る……

◎李太王墓所變更

◎奉天より

◇十七日夜中に開前の大[illegible]

殊に相對せる滿鐵貸事務所の修繕工事近く完成し兩々相對して驛頭を飾るべく期待されし其一を失ひ[illegible]

◎女でも飛行出來る
◇日本婦人に刺戟を與へたい—ロー夫人談

廿三日入京した米國女流飛行家ロー夫人は小柄な體に背味がつたカーキ色の輕快な飛行服をキチッと着け胸間に方々から貰つたメダル三四箇を飾り短いスカートの裾からは赤革の長靴を見せ鈴の樣な眼を見張りつゝ語る『あの研ぎ澄ました樣な青い空、あの雲行きの正しい空に一發の

◇飛行機も飛んで居ないのは何だか惜しい樣な氣がしました又家並正しい宛然箱庭を見る樣な市街地、之に點綴する常綠樹の景色なんでせうそれから現在米國には數千人もの飛行家があつて軍隊の爲めのものが一番多い、又郵便飛行に就ても研究されてゐる、そして民間飛行家は極僅少である云ふ譯は歐洲大戰の結果飛行家が軍隊に皆關係したからです女流飛行家としてはスチインソン孃と

◇妾こそだけですが日一日と發達しつゝあるやうですから追々女流飛行家も現はれて來るでせう尙妾が來た事を動機として日本の婦人に『女でも飛行出來る』と云ふ一種の刺戟を與へ研究の第一歩を踏み出して貰ひ度いと思ひます』と因に夫人は二月一日公開で飛行をする筈で機はカーチス式複葉場所は芝浦だらうと（東京）

◎浦鹽港外大結氷
五十浬の沖合まで

日本海は二十日以來稀有の大吹雪にて航行中の船舶は何れも大難航をなしつゝあり浦鹽港外は五十浬の沖合まで結氷し其間に避難船の立往生せるもの多く近年になき光景を呈し居れりと露國義勇艦シーツアン號（千六百噸）は支那苦力五百を載せて二十日浦鹽出帆芝罘に向ふ途中大吹雪に遭ひて針路を失ひ四日間の難航を經て二十三日敦賀に避難し來れり（敦賀）

◎感冒猖獗
鎌倉師範又復休校す

相州鎌倉町神奈川縣立師範學校にては昨秋も流行性感冒に襲はれ一時屏息したるが去る十三日來又復大流行して數日前より續々患者を生じ既に六十餘名に達したるより寄宿舍の一部を隔離室に宛て重症者四名は養生院に入院せしめ居たるが四年生[illegible]は廿一日病院にて死亡し病勢頗る猛烈なるより縣衞生課の西泉主事出張豫防策講究中にて同校は廿三日より卅一日迄休校に決す（鎌倉）

◎信州復震ふ
數回の强微震

信州大町地方にては廿一日午後六時十分頃大音響と共に强震ありたるが折柄夕飯の事とて其混雜名狀すべからず茶碗箸を持ちて積雪二尺もある戸外に飛び出したるものあり茲數日間强震なかりしより最早終熄せるものならんと安堵し居りたる矢先の事とて其驚愕一方ならず廿二日午前十時までに數回の微震あり人心は再び動搖し來れり（松本）

◎京城昨今の米値
四十二錢は高い
夏の五十錢以上に掛合ふ珍値だ
何故騰るのか…不足な上に買煽る者がある

京城の白米は一升四十二錢掛けで買うと四十三錢と云ふ高値を現はした、去年の夏内地に米の騷ぎの起つた時京城の白米は四十三錢であつて、昨今京城の米價は當時の高値にスレ／＼まで上がつた譯である、均しく値頃は同じと云つても去年の夏は八月末と云ふ端境期—つまり古米は段々失なり特に

◇新米の出廻りを見やうと云ふ間一年中で最も米の少い時だつた、コレを今日の如き米の出廻り期在米の最も豐富な時とは一しよにして考ふべきものでないのである、殊に嚴寒の季節で富めるも貧しきも燃料費の嵩む今日此頃今日の四十三錢は去年の夏の五十錢以上或は六十錢にかけ合ふ珍値である、ナゼ米が四十二錢も三錢もしては細民の生活難は甚しいのである、朝鮮のやうに去年の秋一千三百五十六萬石も米がとれたのにかく高いのであるかと云ふに色々理由はあるけれど（一）內地米の

◇去秋の作柄が餘りよくなく其れに米を食ふ量は景氣のよいため著しく殖ゑた、そこで今秋までに四五百萬石は不足だらうと云ふ見込みなから農家はどうも賣り惜しむ、定期市場の買ひ方が煽る兩々相俟つて瞬間に内地は上つて來た、それが朝鮮に響いて來る（二）五百萬石も不足するのをどうしようと云ふ事は可なり八釜しい内地の問題であるが、どうも外米を餘計に入れる外はない、所がその外國米は南貢や支那などの主産地が輸出を禁じてゐるから思ふやうに引かれぬ、政府で骨は折つてゐるけれどトントまだ埒が明かぬ從つて米は高い、この二つが大きい意味の

ノ米高の理由である、然し京城や仁川の昨年の米高は今一つ理由がある、それは鮮人に强氣—乃ち米はこれから段々高くなると云ふ事を信じてゐる商人多く投機者流に買ひ進んでゐる形がある、仁川の定期も群山仁川京城の正米にも何しろ買ひ氣一方で進むものがある、全北の白南信の如き有力者等は主な一人と云はれてゐる、そこで昨今朝鮮米の相場は大阪に逆つて大阪で賣れる相場より石に付一圓も高いと云ふ變調を來してゐるのである、餘り買ひ煽りをする奴があるので例に一錢方

◇騰りすぎてゐるので米は需要供給關係より來た米高である、買煽る手合のために米が矢鱈に上がるのは更に困つたものである、唯南貢米や支那米が政府の努力により内地に下るであらう前途徒に悲觀する所の外米も始まる事だし値は取ドシ／＼入り込むやうになれば取るにも當らぬが各人は米の節約を可成圖ると云ふ事を考へねばならぬ

◎巴里まで
旅費は二千圓で往復出來る
米國經由と印度經由

やれ觀察やれ漫遊と休戰後の歐米旅行が大流行である一體花の巴里迄何れ程の旅費があれば可いのか某通は語る『經濟には際限がないが先づ雜と歐羅巴への途は西伯利鐵道に由るものと印度洋經由と北米經由の三つあるが西伯利は彼の狀態だから今の處は他の二つで先づ

◇北米經由の旅費を調べて見ると横濱から沙市まで二週間の船賃は一等四百圓二等二百[illegible]圓沙市から紐育迄の鐵道[illegible]一日八[illegible]紐育からリバープール迄[illegible]リバープールへ六日間の船賃は一等にも色々の等級があるが一等の最下等で三百圓二等三百七十五圓リバプールから倫敦へ[illegible]十五圓[illegible]倫敦巴里間が一等三十圓二等二十圓で先づ巴里を踏むことが出來る

◇横濱を出帆して巴里迄は二十七日を要し旅費は一等で九百二十七圓二等五百八十二圓で先づ巴里を踏むことが出來るが戰前には横濱から倫敦、巴里へ通し切符を賣つてゐたが戰後中止された、印度洋經由は横濱を渡して馬耳塞まで海上五十日船賃は一等で六百六十圓二等で四百六十圓、馬耳塞から巴里まで二日間の汽車賃が一等五十圓二等三十圓で全體では巴里迄の五十二日の旅に大略一等で七百圓二等で四百九十圓といふ處です、尤も此間には船や汽車中で給仕に

◇心付も遣らればならぬが是は人々の心一つで或人はナニ心付けは一志（五十錢）玉でも掴ませれば十分だなぞといふ人もあれば少く呉れた事はないといふ人もあるが片道の旅費は一等で七百十圓なのに亞米利加經由だと日數は半分の二十七日で行ける代りに旅費は一等で九百廿七圓要かる譯です』

☆出征關東豫備馬廠隊凱旋☆

出征關東豫備馬廠隊及び第三師團後備の一部は馬廠長西村騎兵大尉引率指揮の下に凱旋の途中二十六日朝十一時二十七分の軍隊列車にて龍山驛著官民多數の歡迎を受け京城府及び愛婦會同の歡迎國よりは記念繪葉書並に朝鮮一覽を貰つてニコ／＼しながら晝食を喫したる上午後三時發列車にて內地に向つた

◎肺ペスト
＝に類する流行病＝　死者七十名

小幡駐支公使發其筋著電＝九日臨縣に肺ペストに類する流行病發生し十七日迄に死者七十名に達せりと（東京特電）

◎ワ總督危篤

習志野俘虜收容所にある獨逸俘虜約九百名中流行性感冒患者續出し目下の臥床者三百餘名に上り（？）

◎軍用短銃で無理情死
春川憲兵隊の雇銃工

重態にて其の危篤との說傳へらる（東京）……常の高熱にして危篤との說傳へらる

江原道春川憲兵隊本部勤務銃工沖繩縣生門間某は昨年八九月頃より春川一樂樓抱へ酌婦八重子の許に足繁く運び熱くなり遂に借金百七十餘圓を作りて春川にも居堪まらずなり十二月卅日夜京城に逃走し潜伏中京城分隊の手に取押へられ去九日春川に押送され同地憲兵隊副官は

▲說諭の上再び元の所に使ふべく世話しやりたるが十一日夜加害者は兵器庫より軍用拳銃を盗み出し其の足にて一樂樓に至り未練の數々を口說いて八重子に情死を迫りたれど膠なく跳つけられたるより加害者は今は之れまでと八重子の胸部目蒐けて一發見舞ひ已も其場で咽喉に

▲拳銃を擬して一發打込みたるも只ならぬ銃聲に一樂樓は大騷ぎとなり仲居樓主馳せ付け見ると女は虫の息となりて唸き居りしが男は死に切れず其の場を逃走して憲兵隊本部の井戸に投身せるも水淺くして死に切れず苦まぎれに這ひ上がり

▲小使部屋に入り込みたる處を當直の憲兵のために取押へられ兩人共春川慈惠醫院にて治療中にて全治の上京城地方法院の公判に附せらるべしと（發二通）

◎娼妓の給を盜む

熊本縣生れ當時新安州木谷製鐵所職工小夏市次（二七）は去る十九日午後五時頃同町遊廓思君樓に登樓し娼妓福松を相方とし遊興し翌朝同樓を去るに際し福松所有の金紗お召給一枚（時價四十圓）を窃取し此を同利舍いも助に依賴し十圓に入質し其金を以て圖々敷くも二十日夜同廓某樓に登樓し遊興中を平壤署の倉重刑事に踏込まれ引致の上餘罪ある見込にて取調中（平壤）

◎氣持の悪い汚れた足袋の裏
給仕人の身嗜

足袋は殊に人の目に付易いものです、飲食店の女中等が配膳の場合汚れた足袋の裏を見せつけることが客は不愉快を感じる事が往々あります、其故昔の人も人に

◇御馳走をするならば先づ給仕に出る者の足袋の裏に氣をつけよとの言葉もある通りです、何も美しき足袋を穿けよといふのではありませんが、足袋の裏が黒く垢じみて居るのは實に不潔を感じさせて

◇折角の御馳走も心に添はないことになります、從つて凡てに於て潔淨たれといふ事が客を接待するに於て必要なことなるので、下常から食膳につく折は室内を淸潔にして置く、四季折々の花や飾物を並べて氣分を爽快にさせる食膳に向ふ時は子供は勿論主婦も立ち働いた姿を直して

◇髮の亂れをかきあげ、他の會食する人に對して不快を起させないやうにしたい、殊に足袋に就いては舞踊の場合其扮裝よりも意を用ゐて淸潔たるべく然らざれば折角の舞踊も甚だ見苦しいものとなる譯です、一流の料理屋等の女中の話を聞くと、一日に何うしても五六度は足袋を取換へて客席へ出るといふことです

◎松村三省氏の歸鄕　龍山松村病院長松村三省氏は約一箇月の豫定を以て藥劑其他の用向の爲め本日鹿兒島に向け出發せり

林大阪府知事此頃何う感じたものか毎日曜日に大阪教會から牧師を招いて家族と一緒に聖書の研究をやつてゐる▲茂子夫人は嘗て京城で敎會にも行つてゐられたと云ふからその感化にもよるのであらうが一角一面豪放磊落の風ある林知事が專念に此の愛と平和の福音を研究し出したと云ふ事に一寸興味がある▲平和を出さんがために來れるにあらず、刄を出さんがために來れるなり』と說いた、ナザレの大哲人の敎へを此の名知事は如何に見るであらうとは大阪での評判

生儀旅行に付本日より約四週間休診致候　一月廿六日　松村三省

天氣　京城地方　晴一時雪

演藝案内

壽館　南町二丁目　電話一〇五〇　法恩山旭子師披露演奏會　▲法恩山旭子師　▲星島法恩山水波旭子節 [illegible]

有樂館　早川演藝部直營　活動寫眞常設館　一月二十七日より公開　ユニバーサル週報六十四號　人情劇『深夜』全二卷　『幽靈船』　人情劇『恐怖の影』全五卷

大正館　櫻井町　電話八七三　『空中魔』　『若年の猿飛佐助』　『兄と弟』　『飛行娘』

文樂座　本町五丁目　電話一三二八　浪花節應用中村福高一行

浪花館　京城明治町　電話二六〇

黃金館　電話（夜間）二六六七　『荒鷲四郞』　『技士の奇禍』　『戰死大尉』

壽座　京城本町　電話五七八　大阪歌舞伎　中村玉六　嵐信藏一座

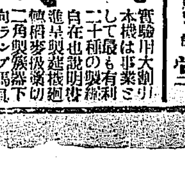
緊急廣告　大正八年壹月貳拾參日沙里院驛長發行倉荷證券第九拾七號 [illegible] 右證券紛失ニ付無效トス　沙里院内國通運株式會社取扱店

時計貴金屬指輪眼鏡商　京城本町二丁目　三浦天龍堂

大正式製繩機　實驗用大割引　東京本所長崎町三日目

模範牛乳　東亞牧場　京城蓬萊町四丁目

ニウソ　石鹸洗粉



新石油各油卸　國旗類　犬印石版　活版インキ　炭　小賣　貿易雜穀商　藤富國太郞商店　京城本町三丁目

繩叺廉價販賣　全北沃溝產繩叺　群山府九條通　森田商店

今夫御墓所は金谷里に變更する事と內定せりと

け不義有に[illegible]したるは經濟上[illegible]人に對しては[illegible]同情に堪へざる も更に又罪前の美觀を失ひたるは吾人共に惜しむ處なるべくと存候

[illegible]んばあらず候 ◇然るに損失の朝即ち十八日朝に至り仄聞する處によれば棧主は日へ出火の原因極めて不徹なり或は

[illegible]得ざると共に[illegible]卒然として消ね去ると共に其心事の不淨なるを憐むの心油然として湧き來るを覺わずんばあらず候

[illegible]天長春の遠く及ばざる處と聞く而して彼れは曩に長春の客棧を今回の如く火を失し烏有に歸せしめたる事あり其時も亦自己の失態を隱[illegible]ら十二此度又其の非を重ねんとする ◇加ふるに彼れ失火の其れを知らず巡回中の我警官是れを認めて注[illegible]る刹那として[illegible]しかも彼れが湮滅か否かをさへ確かむるの餘地を得ざりし事が明々白々の事實なるに拘らず敢て奇辯を弄するの態度は萬人[illegible]度は何處までも反省を促したるの[illegible]の存じ候

◎奉天より

支局にて　老禿生

◎目下の滿地圖を開いて滿洲に於ける交通運輸機關の最も整備して便利な處はと見ると何人も直ちに奉天であると云ふに相違ない、即ち滿鐵本線の中央に位し之を北すれば長春、南すれば大連、それに安奉線の接續地點であり撫順線も同樣であるのみならず遠に西を指せば京奉線によりて北京天津は僅々三十時間を出でずして達する事が出來る至便至利の要衝を占めて居るのである、即ち四通八達の頂點に位置したるのである、成程四通八達で至利至便の地位には相違ないがそれでも住んで見ると案外不便不利の點がないでもない、例へば撫順行の如きが其である、何時ぞやも云うた通り撫順は出口を大連にのみ向けてゐる、お隣の奉天…近來最も關係の深くなつて來た奉天…而して將來は是非共同一圈內に入らねばならぬ運命を持つてゐる奉天…を見向きもしない樣な態度を示してゐるのは餘り至便か利とも云ひ衆る譯である、二月至らば汽車の發着時間が改正されるから是非共此の不便不利を除去して貰ひたいものである、が元來此の撫順奉天は理想を以て云へば兩者を接續すべき電車が速かに敷設されねばならぬ、即ち短距離間に乘車人員が多ければ多い丈其丈短距離間の運轉を多くし其の反對の一面には其の運轉に要する費用から成るべく節約して行くのが當然の歸結であらう、此の筆法から行くと撫順には日本內地でも到底夢想だも出來ない安價な動力がウント供給し得らるゝ事となつて居る、而して撫順奉天間の交通は日に日に多くなる從つて貨物の輸送も加する、是れでは如何しても兩者を接續する所の電車が出來ねばならぬ運命を持つてゐると確信して疑はれないのである、其上に目下の奉天では例の馬車鐵道なるものが次第に問題となつた聲を大にして來た、が此の馬鐵を今直ちに電鐵に變更した場合には是れ亦收支相償はぬものとなるのは自から明かな理であると共に其れ丈けでは到底市民の利便を增進する事は出來ぬ、乃こで此奉天の電鐵問題なるものは支那對日本即ち城內と附屬地を先づ第一に充分接續し得る事と而して奉天と撫順とを結び付る事の二條件を具備せしめて解決せねばならぬ事に歸着すると思はれる、斯れが實現すると奉天は眞に四通八達の要衝を占め且つ市內交通機關も先づ他處に比較して左したる遜色を見ない事となる、處が馬鐵の改良に對しても支那側では餘り乘氣となつて居ない、と同時に現在の城內の市街の有樣では一寸電車を運轉するには困難である、で此の問題から解決を急がねばならぬ事となる單に附屬地の新市街のみを走らせる計りでは矢張り其の目的は達せられないから時期のある毎に此の問題解決に向つて進まねばならぬ、是れ直ちに日支相互の利益を增進するの方途であるから支那側との間に十分の諒解を得べく努力すると共に凡百機會を利用して支那側の稚思想…換言すれば…內に對する…を進展向上開發せしむる事に注意と努力を怠らざるべく官民上下が深く感銘せねばならぬ處であると思ふ

◎撫順より 亞鉛鑛業に就て

◇亞鉛は遠く南洋より◇

阪亞鉛鑛業撫順分工場に就いては曾て報道せし如く着々事業は進捗しつゝ有之候と同時に當事者間に於ては今や該工場を分工場とせず獨立したる一大會社となすべく畫策され且つ是れに向つて其の歩を進めつゝあるも亦一報の如くに御座候然るに傳ふる所によれば本計劃の實現は豫想以上の困難なるやも計り難く候ソハ亞鉛製品の需用は近來著しく增大し來りたりとは云へ未だ是れを他の必需品に比して劣らずとなすまでに進み居り申さず候殊に我國に於ける亞鉛鑛業は戰前實に微々たるものなりしが戰後世界の亞鉛供給地たりし白耳義の生產不能となりし結果急遽活動を開始し其の勢ひ眞に當るべからざるもの有之當業者の鼻息は實に素晴らしきものなりしも大戰終了後果して戰時中の狀態を持續し得べきや否や亞鉛工業の人氣落ちたる矢先き撫順工場は其の原鑛を遠く南洋方面より仰ぎて製煉加工し再び是れを搬出するものなれば一層の困難を享くるや豫想の外なるべく候、其の內滿洲に於て將た又朝鮮西伯利蒙古等最寄の地方に於て容易に原鑛を發見し其の供給を受くるを得ば若干緩和され來るなきを保せずと雖も目下の場合是れが發見は甚だ至難の事たるべく推察され居り申候幵は兎も角として該事業は國際的事業にあらず少くも百年の大計の下に企劃進捗すべきものなるべければ其の遠き前途は實に有望有利なるべくと存候に就ては當事者の努力と遠大な計畫の下に着々其進行を庶幾せずんばあらず候、此の意味に於て該工場該會社の健全なる發展を祈り居る次第に有之候(老秀生)

◎問題の支那棉花 僅かの間に輸入額三萬斤以上

平壤に於て昨秋以來支那棉の輸入好況を呈し輸入開始以來既に四萬八千餘斤此價格三萬八千餘圓に達して見ざるの盛況を呈せり今其の狀況につき詳記すれば左の如し(平壤)

◇輸入狀況◇

輸入品は繰綿を主とし其の生產地は山東省及び北京方面にして其の輸出地は安東縣及び天津なるが輸入を開始したるは十月下旬なり、其の輸入高を月別すれば左の如し(但し十二月は十日までなり)

月別	斤量	價格
十月	三六〇	二七〇
十一月	二二、二七四	九、四六七
十二月	二、八九〇	二、一九七
計	二五、五二四	一一、九三四

尚この外に新義州及び仁川を經由して輸入せしもの一萬五千五百二十四斤この價格一萬一千九百三十四圓なり

◇販賣價格◇

本繰綿の平壤に於ける相場は輸入開始當時に在りては百斤につき卸相場七十八圓を稱へたりしも其後荷の加はると共に稍下降を呈し候も其後再び高騰し一時八十三圓を稱へ居りしが目下銀相場は百斤につき八十五圓を稱へ地方に於ては百斤に付き[illegible]

◇品質比較◇

品質は支那西河棉に屬するもの、如く光澤乏しく纖維短く且手觸り粗剛夾雜物多く水氣稍多き感あり尚繰綿中少量の實棉をも混入するものあり平南地方產に比し遙に品質劣等なり

◇用途需要◇

輸入棉花は加工の打綿として總て鮮人の需要に供せられその用途は多くは中入綿並に織物用に使用せらる該棉は品質優良ならざるを以て平南地方產綿の如く紡ぎ綿の細きものを作るを得ず太く且つケバ多く織物として手觸り厚きものをするに適すれば鮮人商として地質厚きを好むが故該棉を織物用に歡迎せらると云ふ鮮人は該棉二斤二分五厘を以て一疋を織り一疋の價格四圓にて販賣されつゝあるを以て利益又尠からざるの狀況なり

◇分布狀態◇

輸入支那棉は總て平壤に集散し道內、順川、成川、安州の各郡を初め元山、江原道鐵原、黃海道、京城方面に移出せらる

◇將來如何◇

支那產棉の上述の如く一時輸入を見たる原因に付き某商人の言に依れば本年內地移入打綿の數量昨年に比し約三分の一に減じ內地打綿の[illegible]の結果と尚ほ地產棉の高價なるに稱へ居りしところ支那內地の銀塊[illegible]落を來しつゝありしを以て支那棉の輸入を見たるものなり然れども目下銀貨高の關係もあり今後安東經由の本品輸入は從來の如き好況を持續すること難かるべし

◎新義州より

支局にて　一記者

◇鮮滿國境新義州に於ける例年の嚴寒は對岸の安東縣に比し常に溫度を極め候は地形の然らしむる所にして本年の如きも二十一日に於て零下二十七八度に低下し、處によりては三十度に低下したる箇所もありとの噂に御座候

◇昨年來當地の經濟界は非常の發展を遂げ、且つ各種の工業勃興致し候處、新義州稅關支署が昨年中調査したる處によれば、製材工場八箇所、當年の投資格は百八十七萬一千圓を算し、其の製材力は一箇年二十二萬三千六百八十尺〆價格近に二百[illegible]十四萬一千九百七十六圓の多額に上り申候

◇上述の製材工場に使用せらるゝ動力は悉く電力にて、電動機は種々雜多なるべきも、動力の總計は五百五十七馬力に達し、猶ほ々動力の需用を增加致すべく候然るに近來戰後の經濟界の變動的波動を受け、石油、石炭の暴騰は地方工業の爲め看過すべからざる大問題と存じ候

◇昨年以來、鴨綠江材の需用頓に增加し、朝鮮、南北滿洲及北支那に到るまで、殆ど木材饑饉の狀態となり、材價も非常に騰貴し、貨車配給不足の外は順調に進展したるを以て動力の單價に就て、何等の苦痛を覺えざりし當業者も、或は遠からず動力費に苦しめらるゝ時期は來らずとも限らず[illegible]

◇義州は撫順[illegible]の供給も[illegible]比にあらざるも、近來撫順炭の[illegible]甚だ[illegible]今日、地方有力者の[illegible]

◇而して聞く處によれば、[illegible]發電所が、一箇所を新設せらるべき噂なるが、當地に於ては電力によつて、動力の不足を補ふ事が出來るやうに相成る可く候

◇當地の工業は、製材を主とし、其他精米業、釀造業、燐寸業、製紙原料製造業其數は雜多の如くも、何れも單純なる工業のみにて之が、依つて府及び府の當局は、新義州の生命を工業とする以上は今少し、複雜なる所謂技術を要する工業を發展せしむべく、其の第一階梯として當地に中等程度の商工業學校を新設せんとの議、著々致し居り候由、機宜に適したる計畫と雙手を擧げて贊[illegible]を表し候

◇又に御境道出上良きは、新義州が龍岩浦に於ける輸移出入貿易及び數字の上に現はれたる繁榮なる有樣に候得共、這は後日に讓り更に詳報可仕候、頓々不一

◎新發見の鐵鑛

◇河を挾こし展覽の[illegible]水子◇

[illegible]今回發見したる[illegible]距る約三哩の地點に在る鐵鑛は含鐵量七十乃至八十五パーセントを有し滿洲のみならず日本內地を通じて最良第一の鐵鑛たることを確め得たるとの事なるが同鑛區は面積三十五萬八千坪殆ど到る處に露頭を見る狀況にして[illegible]に在り且つ同地は[illegible]なるを以て將來熔鑛所を設置する上にも亦有望なる鑛區なるべし

◎陳列館(清津)

清津港は咸北間島は勿論遠く吉會線の沿道に依る遠く滿蒙方面の門戶に於ける關門たるを以て旅客の出入頻繁なるを以て商港の物產陳列館を設置するは商工業の振興上亦必要なる所なるべきを以て[illegible]是が建築の計畫あるが位置は府廳構內約五十坪木造二階建にて階下は物產陳列場階上は食堂に充當すべく經費は約一萬圓にて半額は地方費と府費とに依り他半額は有志の寄附に俟つ筈なり尚同建物は本秋中に竣功せしむべき豫定なり(清津)

◎棉花弛む(木浦)

前回木浦販賣所入札當棉百斤四十三圓八十五錢にて落札せし棉花は去二十二日入札にて四十三圓八錢となり地方も亦二三圓方下落し來りしが已に生產額の七分は已に販賣せられ殘るは三分位なるべし

◎新聞と廣告(一) 巧妙なる廣告

廣告といふことは畢竟品物の存在を示して購買心をそゝる一手段たるは言ふまでもない而してその廣告は其文字の示すが如く人間の精神の働きである依つて廣告をする人は意識的か無意識的かに此の精神の働く根本理法即ち心理學の原則に訴へなかつたらその廣告は目的を達することはできぬ更にもう一歩進めて廣告が相手とする人間の精神の働きとは何であるかといふにそれは結局意志である即ち之々のものを進んで買はうといふ決意である但し此の決意を起さしむる前にまだ訴へねばならぬ作用がある、それは一には注意を惹くことで二つには愉快な感情を起さしむることで三にはよく廣告を記憶させて置くといふ事である故に今此三つの作用の點からして新聞紙上に廣告する二三の事項に就て留意すべき點を擧げて見よう

◇注意の點から見たる◇

廣告文の分量と頁數と位置

廣告の量に就ていへば大體に於て多くの面積を占むるものが注意を惹き少き面積を占むるものは注意を引かない處がある隨つて一段よりも二段、二段よりも三段、一頁、全頁といふ具合に量を增すに隨つて注意を惹く機會が多いのである然りと雖も之れは唯大體から論ずるのであつて無闇に擧げるべきではない例へば新聞紙上全頁大の廣告欄として見るに長い文句をこてくくと入れてある紙そのものは相違が無くなる然るに新聞紙の一頁內には色々の事柄が書いてあつて頗る變化が多いから讀者は少くとも其の一部分の自己の好む所を讀む、こころが廣告になると同じ一つのものに就ての種々の說明であるからもはや讀者は分かつたものとして讀まずにずんずん次へ移つて了ふのは讀者の常である

◎二食主義の勸

一人が五勺づつ食減せば　一年一千餘萬石の剩飯米

……熱心なる宮崎翁の主張……

[illegible]

昨年內地各地に米騷動の勃發して軍隊の爲め遂に軍隊を出動するの不祥事を演出するに至つたのは甚だ遺憾に堪へない次第であつた、此の聖代の不祥事は必ずしも米價騰貴にのみ起因した譯では無く一部危險思想者の偶米價暴騰の好題目を藉りて愚民を煽動し[illegible]階級對資本家階級の[illegible]を惹起せんと[illegible]した一時的の現象に過ぎなかつたのであらうが兎に角米穀を主要食糧とする我國民として米價の暴騰は事實苦痛である、然も毎年我國民の食用米は國內產のみを以てしては全國民の需要を充すに不足して之が

◉補給は外國米の輸入に俟たねばならぬ、大正七年度の我國產米は五千四百萬石と豫想された假りに其精算を正確のものとするも本年我國民全體に供給するには約六百萬石の不足を生ずるので其の不足額の補充米としては當然外米の輸入を仰がねばならぬ我國民の主要食糧の補ひを外國產米に俟たねば國民の生活が出來ぬとあつては實に

◉心細い次第で寒心すべき問題ではあるまいか、國民生活の安泰を期するには農事の改良や未耕地の開墾で米の增收を圖るも緊要事であつて殊に朝鮮の如きは猶ほ水利の整備農事の改良未墾地の開拓で增收を圖るべき餘地充分であつて、之が完成を見るならば鮮內でも一千二百萬石の產米を當然倍加するは易々たるものであるが、此れは今後一層の

◉在鮮官民の努力と相當の歲月を要する問題であつて、當面の米價騰貴を緩和すべき救濟策とならぬのみならず假令改善增收を圖るの餘地ある我朝鮮現在の如き農事改良水利整備未耕地開墾の方策に依る增收も漸進的增收を施すことは我國民の人口增殖率にも追隨することが出來まい、ソコデ私は應急策として我國民の三食習慣を二食習慣に改め米穀の

◉消費の節約を圖つて見たい、勿論勞役に從ふ者は相當の食事を取らねば能力が減殺する恐れがあるから別として普通一般の人々には二食制で充分である、或る醫學博士の說に聞くも普通人は二食制とするも何等害なきのみならず生理上反つて良好の結果を齎すことである我國の三食制は數百年來の慣習であるが其以前にあつては二食制であつたことを

◉歷史は語つて居る、古來の朝鮮人も現在其の過半數は二食制であつて十年以前までは殆ど全朝鮮人の總てが二食制であつた而して我國民六千萬人が二食制を行するならば一人一食分を喰ひ餘す譯にはゆくまいが、假りに一人一日五勺宛の米を

◉喰ひ餘すとしても一箇年には實に一千餘萬石を節約する勘定である、然れば國內產米のみを以て我國民の需要を充す上に數百萬石の剩餘米を生ずることゝなり國民生活の安泰を期する事ができる私は斯の如き信念を以て自ら二食制を實行し進んで我全國民に二食主義の實行を勸奬して見たいのである

◎篠田氏調査區域(清津)　今回西利亞派遣軍司令部附囑託として赴任すべき篠田平南第一部長の調査區域は浦鹽附近よりポセット及び琿春、間島方面なりと

◎氷上通行(洛東江)　慶北高靈に通ずる洛東江は約四寸結氷し高靈への渡船不通となりしを以て廿一日より氷上に危險防止の繩を張り之を使つて氷上を通行しつゝあり

◎熊本縣人會(全州)　全州の吉田勝馬、藤野三四郎、河池可彥、井手完熊、長野與一諸氏首唱者となり熊本縣人會を組織すべしと

人口(木浦)(全南)

種別	戶	男	女	
內地人	一三五	[illegible]	[illegible]	[illegible]
朝鮮人	三二〇	[illegible]	[illegible]	九九六
支那人	[illegible]	[illegible]	[illegible]	一〇九
外國人	三	[illegible]	[illegible]	九
合計	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

◎酒保員の罪 軍法會議に廻さる

戰地で酒保商人が三人結託して保員外の高價なる物品を密に西伯利へ輸入せんと企て[illegible]國稅上吏の爲に發見せられ終に[illegible]軍法會議に附せられ審理の末三名とも詐欺取財の罪名の下に懲役三箇月に處せられた右三名の住所姓名は

山形縣西村山郡寒河江町[illegible]　酒保(貿商)　神島和吉郎(三二)
山形縣西村山郡本鄕村甲一六八　貿易商　[illegible]七郎　白石貞(四二)
山口縣厚狹郡吉田村[illegible]　酒保員　柳井訓一(三一)

といふ其三名であるが此外にも密輸入を企て稅關吏の爲に發見されたので自殺せんとした者さへあつたさうとは哈爾賓からの近信に見えた

◎理髮獎勵會(釜山)　釜山理髮助手獎勵會は春期總會を廿一日初瀨に開き各店助手の出席約四十名之に組合役員の參列を加へて六十餘名にて役員左の如く改選せらる(會長)[illegible]重任(副會長)[illegible](部長)大西辻太郎(同)末久繁藏(評議員)內藤

◎天一の一行(木浦)　木浦常盤座に興行中なりし天一一行は此程光州に乘込みたり

東西南北

◇閙やかな滿洲の暮◇　昨年末に際して滿洲は例年強盜や竊盜の被害多きに本年は此の被害少しといふ原因は我が軍隊の往來頻繁なるが爲めなりとは結構々々

◇海に突落す◇　阿片所持の乘客金大甲(三)を海に突落し二千餘圓卷上たる汽船[illegible]丸火夫長島崎由松(三)は[illegible]

◇女に迷ひたる局員◇　[illegible]新谷貞一(三)は公判に附せらる　南原郵便局事務員島根縣能美郡布部村字由貞一(三)は女に迷ひたる爲官金二千餘圓を費消せし揚句逐電せしが咸北鏡城にて捕へらる

◇賭博打ちは消滅へ◇　北鮮地方に於ては近頃賭博常習者の殆ど影を潛めたるに對して清津署の某刑事曰く彼等は多分浦鹽方面に赴きたるものならんと語れり

◇恐しき女房の企み◇　[illegible]亭主が[illegible]で女を捕へ伴れて來たのを女房が燃付き亭主に內々で家財を賣り飛ばし密に[illegible]清津の或る料理店での出來事

三寒四溫

[illegible]篠田平南一部長は今後派遣軍司令部囑託として現任のまゝ[illegible]涉する事になつたが任務は民情の調査であるといふ▲篠田氏は國際法に造詣深く曾て乃木將軍の下にあつて専門の調査をした事もあつた位で殊に西伯利には朝鮮人が多數居住しゐる關係上秀氏の任命を見たのであらうとは平壤での噂である▲今より六十年前の己未歲は恰度本年の樣に舊正月前の暮から正月松の內にかけて急に寒くなつたり暖かくなつたりして氣候が非常に不順であつた▲所が其歲の夏虎列拉が流行して大勢の人が死んだ事があつた▲何でも本歲は虎列拉の流行る歲に當ると云ひだしたのが北鎭(平北)邊の古老であつた▲ソレからそれへと此の噂が傳はつて虎列拉除の呪ひには陰曆十二月二十二日午前一時より晝の十二時迄の間に藥麻(漢藥)の莖を溫突內で焚き更にソレを一本門外に吊るして置けば厄病神が家へ入らぬといひ又は正月三日に神給散といふ賣藥を服めば虎列拉に罹らぬと云ひ觸らされてゐる

かぜねつに　一番よくきく　キナピリン

効　●感冒●熱病●頭痛●インフルエンザ●リウマチス●間歇熱(マラリヤ)等に大効あり

價　十錢、廿錢、三十錢、五十錢、壹圓

大阪市堂島元製舖　本舖　高橋盛大堂藥局

◎到る處の藥店に販賣す

贊化病院　京城明治町一丁目　電話二四一番
內科　小兒科
入院隨意
每日五名を限り施療す
醫學博士　古城憲治
金澤醫學士　打田義芳

東京藥化學研究所

經濟を主として完成されたる現代に於ける最善良法なり。
東京市本所區向島小梅町
ハカキに病名を記し申込めば彩色圖入解說書を無代進呈

梅毒も淋病も安全に治る

前帝國醫科大學特命製劑の名譽を擔ひし藥劑士赤井先生指導の下に當所の新進醫藥學者が研究せる藥化學療法は在來より行はるゝ自宅療法と其趣を異にし專ら使用の安全、簡易

京城永樂町二丁目(商品陳列館裏門前)
電話二〇〇八番
酒井婦人病院
酒井[illegible]

醇良無双清酒
衛生無害品質無双
貴釀商標　菊薰
發賣元
京城府黃金町二丁目　首藤京城支店　長電話一一七一番
釜山港幸町　首藤釜山支店　長電話三四三番

內科　胃腸病　診察夜九時迄
京城本町一丁目
石川醫院　電話一二七〇九番

醫化學器械一式
仁川本町　北島藥店
京城本町永樂町角　北島藥店京城支店　電話三三四・振替京城六七番　電話七六一番

藥種賣藥卸商

眼科專門　入院隨意
京城明治町東拓前(電話二〇四四番)
江頭眼科醫院
日曜祭日午後二時迄　江頭富雄

宮內省御用達
千葉縣銚子港　銚子醬油株式會社釀造
ヒゲタ醬油
代理店
京城明治町二丁目
發賣元　櫻正宗
山邑京城支店
電話長八四九番・振替貯金口座京城七五四番

京城龍山漢江通り八
電話四九番
氣會社特約販賣
コールタール
金物商　島田忠作商店

資本金壹千萬圓
年賦又は定期償還方法に依る勸業資金貸出の外一般商業金融業務を取扱申候
京城南大門通二丁目
株式會社　朝鮮殖產銀行
頭取　三島太郎
電話長六〇一四番
營業振替貯金口座四〇九番
送金庫振替貯金口座特一三番
支店　開城、平壤、鎭南浦、安州、新義州、全州、裡里、井邑、金堤、南原、光州、木浦、麗水、大邱、金泉、尙州、安東、晉州、統營、馬山、釜山、大田、論山、江景、公州、忠州、淸州、鳥致院、海州、沙里院、春川、鐵原、元山、咸興、北靑、淸津、羅南、城津、元山
右の外內地鮮滿洲支那各地に爲替取引先有之候

內科　小兒科
京城永樂町一丁目(商品陳列館前)
村上病院
院長　醫學士　村上龍藏
電話六二三番

氣象豫報

[illegible]

高氣壓　滿洲、支那北部七七六　低氣壓　日本海南部七六八

(つちのと卯)　二千八百十九年

[illegible]

毛谷村六助 卅六番角力

百二十六席　桃川桂玉口演　浪上義三郎速記

村越茂助は頭を低げて殿下の御出座を待受けて居りました、暫くすると御簾を掲げるとその内に控へられたる從一位關白太政大臣豊臣秀吉公、束帯に關の御笏を携へ唐冠を召され、燦爛黒々と含ませ光が映すかと思はれるばかりの太られ燃然と村越を睥下した態は後旅明神社頭の儀に付き申開きあらば速かに答へよ』内府の使者村越茂助と申すか、白洲識、爾に茂助に對はれ秀『德川殿下に對ひ茂『恐れながら此儀の御使者は、容易ならざる大事と承はり、只何事も大切とのみ存じ居りました爲、使者の口上をガラリ失念仕りましてござる』秀吉公も此の答へには頗る驚いた、側に居りました者も大變な奴が來たものだ、殿も嬉しや此奴の話しでは此奴は名を忘れたといふが、然ういふ碌忽者を何故使者として當地へ遣はしたか、内府のいたし方合點行かぬ』と人々奇異の思ひをいたし居りまする、此時秀吉公は再び茂助に對ひ秀『使者の口上忘れたとあらば其方一存を以て申開きいたせ』茂『ハ、、有難き仰せ然らば某一存を以て申開き仕りまする』と言て立つたが、肩衣を刎ね、袴を取り衣類を脱ぎ捨て、犢鼻褌一つの裸體になつて大手を擴げ秀吉公の前へ立つたは傍若無人の擧動、眼中に秀吉なく、加藤福島なぞは蠅とも思はぬ振舞、秀吉公は茂助の身體を見れば、刀疵に槍疵、彈丸疵にて隙間もなき有様、秀『茂助背を見せろ』グルリ廻つて見せた、秀吉公是に目を著けると數箇所の疵がある、其時茂助は向き直つて茂『恐れながら是にて五千石』秀吉公聞かれて小膝を打ち秀『ウム、内府明神社頭の儀は内府の苑行ひたる如く千石にて仔細無いぞ、遠路大儀であつた、さるにても内府は良き家臣を得られた』と頗る御賞美あつて村越茂助を關東へ歸しましたが、諸侯には此意味が判らない、何故村越茂助は己と殿下の御前にて傍若無人に振舞ひしか、又それを見られて悉く感じ入り村越は關東へ無事に歸せしは如何なる殿下に御所存あつての事かと尋ねた時に、秀吉公の答が彼の茂助は汝等も見たる通り身體數箇所に疵を負ふ程の忠勤をいたしたる者なれど、其の得る祿は僅に五千石、然るにも係はらず、源頼朝の社頭へ一萬石宛行ふは無益のこと、彼が身體を以て申し開きいたせしことなり、と次第を聞いて諸侯は殿下の鷹量、又家康公が茂助を選抜爲したる思慮深きに感服いたしました、四方に使して君命を羞かしめずとは此の茂助のことでございませう、此の茂助は寛永時代まで長壽を保ち德川三代の治世を見て九十七歲を以て此の世を去りしといふが、實に芽出度い人でありました、それは後のお話しでありますが、今秀吉公の上覽角力、己より願つて出た是非六助を打負かして德川家の英名を輝かしてくれんと、ヒラリ土俵へ躍り上つて四股踏鳴らして待構へる、六助は是を見てコハ尋常ならぬ者と思へば一と際心附けて油斷なく身構へました、行司十時傳右衛門は土俵の中央に立つて軍配を取り双方の氣合を窺ひ居ります、秀吉公始め諸侯方此の勝負如何ならんと手に汗握つて見て居ります、内に双方の氣合があつたと見るや十時傳右衛門はヤッと軍配を引く、六助茂助の兩人は一度にサッと立上り、オイシヨと云ひかけ暫時手先を以て突き合つて居りました、茂助は力を自慢に押し切らうとしてグン／＼押して出る、角力巧者の六助は押されて後へ退り土俵際に足を掛けて堪へて居る、今一と息と押して出る處を、エイと引出をくはせたれば己れ力に餘されて空を突き思はず土俵の外へ二三間突け出しました

皮膚科專門 外科 扇田醫院 京城太平通一丁目 電話二二五八番

人參王 京城本町登電話一四八八七〇〇番 津村兄弟商會

○車夫の新年會　平壤人力車夫八九十名の新年宴は例の如く二十五日午後六時より大同館に於て催し非常なる盛會を極めたりと

○製肥會社副業　◆石粉の製造と好成績◆　平壤朝鮮肥料製造株式會社にては豫報の如く目下製肥の傍ら石粉の製造を行ひつゝあるが成績頗る良好にして一日の製産高百六十叺を産し居れり而して此が原料は大同江上流江東郡より供給され頗る豐富なるを以て向後同會社の擴張と共に年三四萬俵を生産を見るべ

院長 醫學士 森定吉（芙蓉醫院改め）森内科小兒科病院 …入院隨意… 京城明治町二丁目舊鶴川醫院跡 電話二六二三番

く加ふるに現時精米業旺盛となりしに連れ在來の籾精を使用するのなく總ての使用傾向あるが爲め品の需要の逐月增加し今や北朝、全南鎭南浦及び京義沿線に及ぼしつゝありて品質の聲價頗る高しと

朝鮮ホテル 各病院 御用 牛乳 京城東四軒町 岡野牧塲 電話一〇六九番

一月廿七日（舊十二月廿六日）月曜日（暗劍西）・先勝・張 ▲七赤 みつ

▼七赤▲宜く戒愼、要すべき日也
▼八白▲華美なるは恐らく此日は一日愉快に仕事の出來る日ならん
▼九紫▲うかと口車に乘る可らず
▼一白▲富貴繁榮の日にして何ごとも自ら進んで之を爲すに利あり
▼二黒▲嬉しき日にて而白可笑く暮せる日なれど散財に注意すべし
▼三碧▲得て注意の屆かぬ日なり
▼四緑▲すら／＼と行かぬ日なり
▼五黄▲花やかなる美しき日にして萬事を行はば必ず報いある日也
▼六白▲親しみのある人なつかしき日なれど散財にたづさはる不可

一月の衞生　過飲、中氣、痔疾、痲疾

（ミツワ文庫八・一）

屠蘇の酒、新年の酒、過飲又宿醉＝酒客の起し易い腦溢血即ち中氣、卒中＝酒等の爲に惡くなる痔疾＝寒い風などで起る鼻加答兒＝頭痛がして眠れぬ神經衰弱＝冬に多い喘息＝初めの手當が肝心な痲疾＝痲疾から起り易い白帶下

▲過飲（惡醉、宿醉）

正月のお屠蘇で惡く醉つたり、酒を飲過ぎたり、又飲過ぎないでも醉したりして、胸がムカ／＼して、今にも吐きさうになつたり、又吐いたりして、食慾が失くなり食物を見たばかりでも嘔氣を催し頭痛がして、口が渇き、仕事も手に著かないと云ふことがある。斯樣な場合には、早速處方公開のミツワ制酸錠を服むに限る、本藥を服めば酒類の爲に胃中に過剩に出る酸を中和し異常の醱酵を防ぎ、惡心や嘔吐を止め、胃の炎症を去り、消化を助け、食慾を進めることが出來るのである、本藥はまた餅類や菓子類、豆類で嘈囃を起したときに用ひても、直に顯著な効驗を現はすから、上戸も下戸も常に備へ置くべき良藥である。

▲腦溢血（中氣、中風、卒中）

誰でも四十の坂を越すと、腦の小さな動脈が硬くなり、彈力を失つて脆くなり破裂し易くなるが、殊に酒客に於ては之が著しくて、腦に出血し、中氣を起すことが甚だ多い。此の腦溢血の重いときは倒れて直に其の儘死んで了ふが、輕くても大抵は半身不隨となり、恢復することが困難であるから、油斷は出來ない。之が豫防法としては、酒類の濫用を避け、梅毒等を避け、通じを程宜くし、ミツワ緩下錠、ミツワ複方人參錠を連用するに限る、それで腦溢血が起つたなら、騷がず餘り明るくない室に臥かせ、頭部を擧げ水嚢を貼てなどして、早く醫師の診療を請はねばならぬ、それから一度治つた後も、再び出血せぬやう、ミツワ複方人參錠を藥として服むに限る、本藥は脈を整へ精力を補す人參に、動脈硬化を防ぐヨード劑等を加へたもので、卒中を豫防し中氣を輕快させる適藥である。

▲痔疾

痔疾と一口に稱へるが、是は痔核即ち疣痔、痔瘻即ち穴痔、肛門裂即ち裂痔、及び脱肛に別けられる、而していづれも飲酒、便秘、妊娠等の爲に重くなるものである。痔核は肛門の内或は外に、豌豆から胡桃程の大きさの結節が出來て、便通のとき殊に痛んで、往々出血するもの。痔瘻は肛門の周圍に膿の道が出來て、肛門の内或は外に口を開いて、膿を洩らし、疼痛や痛痒を發するもの。肛門裂は肛門の入口の粘膜が裂けて、便通のとき劇しく痛み、血を洩らすもの。脱肛は直腸の粘膜が弛んで、肛門から外に脱出るものである。

是等痔疾の家庭治療としては、ミツワ緩下錠で便通を整へ、ミツワ痔疾坐藥を用ふるに限る、本藥は收斂、鎭痛、止血、防腐等の効能ある藥劑を數種配合して肛門坐藥に製したものである。

▲鼻加答兒（鼻出血）

鼻加答兒は鼻の病の中最も多いもので、寒い風にあたることが惡くなるので、之に罹ると、鼻腔が紅く腫て灼けるやうに熱く、乾いて痒く、噴嚔が出て、鼻液が盛んに出て、鼻が塞り、鼻の呼吸が妨げられ、物の臭氣が分らず、聲が鼻聲となり、頭痛を起し、咽喉や耳鼻の炎症を發し、是が慢性になると、神經が衰弱し、氣が鬱いで、記憶が不良になり、夜も眠れなくなり、種々の厭な症候を現はすやうになる。

之を治すには、寒さにあたらぬやう、又塵埃を吸はぬやうに心懸け、ミツワ鼻病液を塗けるに限る、本藥は鹽化アドレナリンや鹽酸コカイン等高價な卓効藥を主藥としたもので、鼻加答兒に良く効くのは勿論のこと、鼻出血を止める理想的の藥劑である。

▲神經衰弱

神經衰弱は神經の機能が通常より過敏となり、且疲勞し易いといふのが、其の徴である。それで容易に疲れて、頭の内が朦朧となり、頭が重く或は痛み、物事を考へるや判斷する力が減り、記憶が不良になり、本を讀んでも其の意味が解らず、計算も出來ない、而して心情は荼れ、勇氣を失ひ、感情は變り易く、鬱々として、精神的の仕事が出來なくなり、睡眠も甚だしく妨げられ、夜に就いて容易に眠れず、顏色は蒼白たり紅くなりたりして、心悸が亢ぶり、消化が不良になつたりする、それから遺精や陰痿を起すやうになる。

之を治すには、第一の原因たる精神の過勞を避け、酒や煙草を慎み、適度の運動を爲してミツワ人參錠を服むに限る。それから頭痛の劇しい時や眠れぬ折には、ミツワ鎭靜錠を用ふるが良い、兩藥孰れも神經を平常のやうに恢復して、强壯にする良藥である。

▲喘息

喘息の原因は未だ明かでないが、一寸罹ると治し難く、冬季の寒い日に起ることが多い、而して多くは突然始まり、胸部が狹くなつて搾られるやうになり、呼吸が促つて、皮膚や粘膜が蒼褪め、冷汗が流れる、斯樣の苦悶が二三分至二三時間も續いて、漸次樂になると共に、咳嗽が出て、少量の痰を喀出すのである。

喘息持の人は刺戟の無い食物を攝り、内容明示のミツワ鎭咳錠を用むに限る。本藥はアノイミン、フエナセチン、安息香酸、ブロームカムフル、ミルトール等を配合したもので、咳嗽や痰を減らし、呼吸を容易くするから、喘息や百日咳は勿論のこと、呼吸器病一切の鎭咳に缺くことの出來ぬ優秀な藥劑である。

▲痲疾

痲疾に罹ると、尿道が痛み、排尿の時殊に劇しく痛み、尿道から膿が出るが、手當が良くないと慢性になつたり、種々重い病を惹起したりする。

そこで之に罹つたなら、身體を安靜にし、酒や辛い物酸い物を禁じ、便通を整へ、ミツワ治痲藥を服むに限る、發病後一週間位は尿道から膿が出るから、其の間は本藥のみを用ひ、局部には成るべく觸らぬやうにし、膿の出方が少くなつたなら、本藥を服むと共に、徐々尿道を洗ふのが良い、それに用ふる藥液は、ミツワ痲疾洗滌液に限る、斯くて内服に洗滌に、合理的療劑を適當に用ふれば、痲疾は速かに治る理けである。

▲白帶下（子宮病）

白帶下とは子宮病や膣病の爲に、陰部から白い粘液が下るのを總稱したもので、痲疾や月經時の不攝生から起ることが多く、腹膜炎やヒステリーを起したりして、頗る危險である。

之に罹つたなら、酒や刺戟の多い食物を禁じ、ミツワ制腐錠を溶かして局部を洗つて淸潔にし、ミツワ婦人坐藥を用ひ、ミツワ婦人湯藥を服むに限る、婦人藥は世間に數多くあるが、信頼して用ひられるのは、處方を公開して責任を明かにしたミツワ婦人湯藥である、本藥は色々として鎭靜、鎭痛、緩下、補血作用を具へ、婦人の種々の生殖器病及び神經病に卓効を奏するものである。

ミツワ制酸錠百五十錠廿錢、ミツワ複方人參錠百錠七十錢、五百錠三圓。ミツワ緩下錠四十錠十錢、百廿錠廿錢、三百五十錠五十錢。ミツワ痔坐藥六個四十錢。ミツワ鼻病液一瓶卅錢。ミツワ人參錠百錠五十錢、五百錠二圓。ミツワ鎭靜錠一百錠一圓廿錢、ミツワ鎭咳錠一百錠一圓五十錢。ミツワ治痲藥カプセル入五十箇一圓五十錢。ミツワ痲疾洗滌液洗滌器附一瓶五十錢。ミツワ婦人湯藥八十錠五十錢。ミツワ婦人坐藥六箇五十錢。ミツワ制腐錠五十錠廿五錢。内地以外は關稅運賃を加ふ。發賣品目錄申越次第送呈。東京日本橋區橘町 丸見屋商店。

Scientific Research Made
MITSUWA GINSENG TABLETS.
100 tablets ¥ .50
500 tablets ¥ 2.00

This remedy feeds vitality to the strained and careworn nerves and dispels the brain fag. It is efficacious for anaemia, inanition, hysteria, hypochonderia, energy-decline and is especially good for kidney troubles. Not only it improves the muscular tone and invigorates the nerves, but it also excellent for the means of recovering vigor to persons of weak constitution who are flabby and incapable of continued exertions.

醫學博士酒井和太郎氏研究の結晶精粹たる
○ミツワ人參錠
定價 百錠入金五十錢 五百錠入金二圓 内地以外は關稅運賃を加ふ

主效 神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、頭痛、偏頭痛、眩暈、腦貧血、腦充血、腎臟炎、貧血、老衰、榮養不良、精力減退。

醫學博士酒井和太郎氏はミツワ化學研究所に在つて、漢藥人參を學術的に研究し、鎭靜、催眠、利尿、強壯等の諸作を呈することを證明せり、ミツワ人參錠は同博士の研究を基礎とし、合理的に精製せるものにして、神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、及び是等の疾患に現はるる諸症候、即ち精神異常、意志薄弱、讀書不能、思考力判斷力記憶力減退、不眠、不安、消化不良、心悸亢進、手足厥冷、遺精、陰痿等に對して偉効を現はし、頭痛、偏頭痛、眩暈、腦貧血、腦充血の如き神經疾患を治し、又腎臟炎に適用すれば、尿異常、浮腫其他の苦惱を除き、分娩前後及び結核、瘧疾、婦人病、諸種の傳染病等に因る貧血並に榮養不良を回復して、體力を增進し、又精力減退即ち精神の困憊並に筋肉の疲勞を癒し、頭腦を明晰にし、意氣を旺盛ならしめ、老衰の諸因を去る等の卓効を奏す。

適應諸症
一、頭が重く或は頭の内が朦朧とする人
一、眼の疲れ易い人
一、逆上せて茫乎となる人
一、眠らうとしても眠れぬ人
一、眠れて凶い夢を見る人
一、些細の事を氣に懸ける人
一、何事にも怒り易い人
一、悲しい事も無いのに泣きたい人
一、精神の倦怠する人
一、何事も悲觀して厭世的になる人
一、物事を深く考へることの出來ぬ人
一、物事の理非判斷の出來ぬ人
一、物事の記憶の不良い人
一、雜念頻りに起り集注の出來ぬ人
一、神經衰弱に罹つて居る人
一、血の道に罹つて居る人
一、陰萎や遺精で悲觀する人
一、腎臟病に苦しむ人
一、産前産後又病後の衰弱を防ぎたい人
一、勉學なして直に疲れる人
一、勞働なして疲れ易い人
一、精神の疲勞を早く治したい人

（現品縮寫圖）

○ミツワ石鹸

凡そ石鹸は、工業用、洗滌用、洗濯用、浴槽用、化粧用等、各用途に從つて其の種類を異にすと雖ども而かも皆等しく、遊離の亞爾加里なく、遊離の脂肪なく、些の混合物なき化學上の純石鹸たらざるべからざるは、素より當然のことなりとす。

皮脂の分泌量多くして而かも粗造なる本邦人の皮膚及び漆黒を貴ぶ毛髪の洗滌に用ふべき化粧用石鹸は啻に化學上の純石鹸たるの故のみを以て其適否を論ず可らず

○ミツワ石鹸

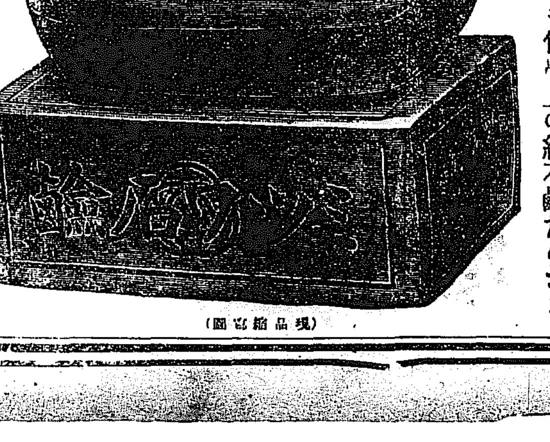
は化學上の純石鹸たるのみならず尚左の性状を具備す

一、原料を精選し、脂肪に、香料に、苟も刺戟を感ずべき虞あるものを用ゐず
一、渾雅の芳香を有す。
一、細き泡沫を生じ、適度の溶解性を備へて能く水にも溶解し而かも浴室に用ひて、半途に溶け崩るゝが如き憂ひなし。

故に、一般の家庭に於ける浴室、化粧用として衛生に適ひ、經濟に合する、理想的實用品なり。

種類	大形	中形	小形	極小形	水石鹸	
	金貳拾五錢	金拾八錢	金拾貳錢	金[illegible]錢	金參拾五錢	金五拾錢

内地以外は關稅運賃を加ふ



（現品縮寫圖）

本舗　ミツワ家庭藥　ミツワ規那鐵葡萄酒　ミツワ人參葡萄酒　肝油ドロップス　御園化粧品

發賣元　登錄商標

東京市日本橋區橘町四丁目
藥劑、滋養品、石鹸、香粧品、小間物問屋
丸見屋商店
電信略號○ミヤ　振替口座東京七一〇〇番
營業部電話浪花三〇・四四八・四四九・四五〇番

汽車時刻

京釜線（南行）	同（北行）	湖南線（南行）	同（北行）	關釜連絡	京義線	京元線	京仁線（仁川行）	同
南大門發 龍山發 永登浦發 水原發 成歡發 … [illegible]	釜山發 草梁發 三浪津發 淸道發 大邱發 … [illegible]	[illegible]	[illegible]	釜山發 下ノ關著 … [illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

八十万瓲の高價である、從つて當地の如きは一二月五圓五十一錢、二三月五圓三十九錢、三四月五圓……より約一割も頭腳を減ぜるは一般に意外とする處だが之れに關しては興味ある事情が伏在して居る即ち大豆……と密接なる關係ある肥料業と豆粕も赤然りである是れ

▲大勢を背景　とさせる賣方の主張であるが買方は事實を根……の滯貨は總計五十萬噸に達し内大豆のみにても三十七萬噸のきに上つて居る此の滯貨瓲の主な

▲大豆も激減　し昨年には十一萬五千瓲の滯貨があつたが現今にては六萬噸に減少し此の結……價格の暴落こにより產地は勿論內地の油房は大部分工場を閉ぢするの止むなきに至り大豆粕の如……來てゐるから

▲豆粕は當分　是等の事情の爲め低落しないといふのが事……年には九千二百八萬三千六百四十七囘こ三千六百二十三萬六千餘圓を激增してゐる、今や施肥期に際……

▲大連の品薄　……に依つては大勢論の……千萬枚を生產する內地の油工場が事實上中止の姿であれば茲に豆粕類は勢ひ供給不足を免れまい併るかも知れぬ、兎に角大勢論が勝つか事實論が依然有利の位置を占めるか豆粕の前途は頗る興味ある

京城日報

本紙定價　發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社
發行兼編輯人　奧田□□
印刷人　小川三之助

選擧法改正案と歸著點

在東京　山峯生

◇所謂政黨內閣の唯一の財產とも云ふべき選擧法改正案は、既に內務省の手を離れて目下法制局の審議中に在之、政府は、愈今期議會に之れが提出を試むる筈に候が故に、議會に提出するに先だち之れを樞密院の議に附せざるべからず、故に本案の議會に現はるゝ時、果して如何の內容を具ふるかは之を豫測する能はず、たゞ現內閣が主義として改正を要望するは左の數點に歸著すべく候

◇即ち第一は選擧權の擴張也而して其の程度は現在の直接國稅十圓を五圓乃至三圓に低下するに在るが如く、法制局は多分後者に決定すべく思はれ候

◇第二は選擧區制の改正にして現在の大選擧區を廢し、一選擧區一人選出を標準とせる小選擧區制に改めんとするに在り、而してこは政友會の多年唱道せる所にして閣內諸者中亦之を容認する者少からず候

◇第三は罰則の改正にして第四は別表の改正即ち議員數の增加也而して此の兩者は大體昨年前內閣の提案と大差無き趣きに候

◇隨つて主なる問題は選擧權擴張の程度と選擧區制の二問題に歸著せざるを得ず、而も此の二問題は云ふ迄も無く選擧法改正案の全價値を代表し、或ひは原內閣其者の運命に影響する所無くんばあらず候

◇二者は政治の勢力を國民の下層階級に移動するは一種の進步には相違無きも成るべく急進を避けて漸進を試み又政府に對しては徒らに離るを求めて國際の運用を外說するの空論を排するものに候

◇蓋し選擧法は學說に非ずして實際の問題也、實際の問題として日本の文化國情民智に適合し、而して之れが運用に最も至當の成績を揚ぐるものたらざるべからず、政府も政黨も議會も國民も先づ實際の效果如何を以て議論の出發點たらしめざるべからず候。

◇若し理論上より謂はんか、職業階級に擴張するを以て唯一の急務とせざるを得ず、然れども之れが標準及び認定を如何にすべきかが實際の難問題也、若し今日相當の教養あり而して國家憲政を念とする者は大體に於て三圓乃至五圓の國稅を負擔せずと云ふ事無し、故に稅率格の限定は必ずしも階級排斥の結果とならず

◇選擧區制の改正大小は選擧の實際を知らう、然れども選擧の實際を知らず、激派の如何を問はず小選擧區制の復活を要望するが如し、吾人は之れに對し特別反對するの必要を認めず

◇故に政府今回の提案は大體に於て中庸を得たりと云ふべく、若し希望を謂はんか、納稅資格五圓程度に止むるを以て更に大いに適切と得たりとなすものに候、吾人は議會政治の眞價を疑ひ、今日の選擧制度の缺陷を知悉すれども、選擧權擴張が時代の大勢にして國民の要求する所ならば、之に順應して適策を講ずる事亦政治の要たり。吾人は政府が民心を利導して法制を改進して以て實際政治の改善に資せん事を望んで已む能はず（一月九日）

混亂の露國

右流する西伯利

從軍記者　早川巳之利

◇過激派の盛んな歐露に於ては、十月黨を始めとして、右黨的色彩をもつたものは悉く存在を容れない許りでなく、社會革命黨の中でも穩和派になると殆んど勢力がない、然かるに聯合軍の手に依つて濟はれた西伯利では立憲民主黨や社會民主黨の如き左黨は漸次右黨に壓迫されて、手も足も出せない狀態である、コルチヤックが薩京統領と結んでオムスク政府の五頭領を逐ひ、獨裁官となつたことは、事實上舊帝制の復活と對……でもつた。全西伯利を敵ふに至るや、西伯利は最早左黨の天下でもなければ、民衆の天下でもない、コルチヤックといふ專制政治家が、舊ロマノフ家に代つて現はれたのである

◇記者がオムスクに着いた翌日一寺院に於てゲオルギー祭を執行した、が、彼は其時帝王の儀式の下に軍隊を閱兵した、彼は鐵道廳にあつて帝王としての生活をなし外交方面に於ても外務大臣の許可を得なければ一切面會せず、會見の場合は外務大臣を帶同せしめるなど全く帝王になり濟ましてゐる、は十月末頃から盛んに命令を濫發し、舊制度を復活せしめつゝあるが、其結果各地方を峻嚴なる軍の下に置き、衛戍司令官は帝制時代の如く與へられた以上の權能を振ひ、クレンスキー時代の地方自治體は署長を指揮し得たるも、今は代理官の勢力に壓せられて殆んど自治の體面を保つ能はず、重なるは舊制度の下に編成され、壯丁は兵役の義務を有し、住民は苛重なる租稅を課せられ、旅行の如きも旅券自由を要つて、十二時間以上留する場合、届出ざる時は三百留以下の罰金三箇月以下の懲役に處せられ、集會結社は嚴重に禁ぜられ、新聞の發行禁止、言論の抑壓は頻々として行はるゝに至つた

◇之に對して反對運動のあることは言ふまでもないが、コルチヤックを支持する英國さへも、餘りの專制化に呆れ果て、米佛等の如きは、明かにコルチヤックを非難しつゝある。而已ならず單に一の頼みの綱にしてゐた、帝政派や、十月黨其他政黨の如何を問はず、和を裝ふものまでが、反感を抱くやうになり來つた。

混亂せる西伯利經濟界

此の程西伯利方面より歸東の途當地を通過せる某氏の談に依れば哈爾賓の經濟界は最近頗る閑散にして市況引き立たず從前の如き活況は全く消滅し盡せるを見る殊に西伯利一帶に於ける貨幣の混亂はその極度に達し殆ど收拾するを得ざる貨幣の混亂と列車輸送の難澁が經濟界に及ぼす影響は甚大にして西伯利救濟なるその問題も先づ貨幣の整理列車輸送の改善より着手するに非ざれば到底その目的を達し得ず依つてこの

▽二問題　より解決するを以て西伯利救濟の根本義なりとし、然れども貨幣の混亂は到底一朝夕に整理するを得ず過激派が隨所に制限なく發行せる紙幣は驚くべき額に達しザバイカル州のみにても二三千萬留と稱せられ、外ハバロフスク方面沿海州なども合すれば何億といふ巨額を算するに至るべく而して是等の紙幣が外國人に對し外國銀行に信用あれば可なるも外國人に對しては通用せず各國銀行はその紙幣の價値を全然認めず

▽過激派　の紙幣を有するものは實際資の持腐れにて而も物品は其の紙幣を以て購入するを得ず已むなく郵便切手を以て通貨に代ゆるなど悲慘なる滑稽を演じつゝあるがこの貨幣の混亂に基づく困難によりて齊多には目下貨車五輛停滯しある始末なり、交通問題は鐵道に關する協定にして滿足なる解決を得ば可ならんも通貨の紊亂は列國との協議に依るかオムスク政府の改善を俟つか何れにしても困難なる問題にして通貨混亂の爲確實なる取引の不便の滯は至大にして之が解決を得ざる限り取引の安定を得ざるは無論なりとす

▽浦鹽　には最近橫濱正金香港銀行間にチャーナー行の支店開設され爲替を取扱ひ居れるが未だ政府の認可を得るに至らず目下交涉中なり

財界の新舊人 (15)

西海生

藤井寛太郎君（下）

不二興業專務

京城の有名者の中にも自ら人自ら成の人は大分ある、然し君の如きは自助的人物として實に錚々たる部類に屬する人である、組織立つた學問こしてはないが、理解力に富んだ天成の頭腦は、孜々勉め努めて止まざる研究力とは、古今東西に亘り、殆んど無限なるかに見ゆる知識をその頭腦の中に叩き込んでゐる、何か問題に打突かれば必ず該博な引例をして說明するが、それが空疎な又怪しい非議的知識から出たものでないこと云ふ事は、聽者の何人も首肯する所であらう

△居常君の如き多忙な人も亦少いやうだ、今朝內地より歸城したかと思へば、もう夜行で群山に行き五川里の坂本部に現はれ、いつの間にか滿洲や仁川に活力縱橫の顏白面のデップリした姿を見せてゐる、一タイいつ色んな事を研究調査してゐるかと怪しむものもあるが、聞く所によると君は眠が三時間か四時間で十分らしい乃ち人の八時間も寢るその間の空隙を利用してゐるのである、その短い睡眠により十分の活動を續け得られる所は、君の非凡な體力の賜ものと云ふべく、何にしろ恐ろしい精力家である

△人格も立派であり、資產も相當に積んだ、道樂は唯その仕事にあるのみ、今の地位で君は私財を殖すべき私的の事業をやればいくらもあるのだが、それを決してせぬ、これは不二興業が殆んど君及び君の親近者の會社とあるこ云ふ話もあらうが、兎に角萬事を會社本位より割出す所は感心だと君をよく知る銀行家は云つてゐる

△唯少しく君の缺點を擧ぐれば、目的のために手段を擇ばざる觀なきに非ず、コレは君が餘りに當初の目的に向つて猛進する實行力に富む結果、偶々現はるゝ一現象であつて、初めから理非を構はず、又殘忍酷薄を意とせぬやると云ふのではないやうだ、臨益水利の地買收に對する地主の苦狀の如きは、君の大利益の前に比較的小なる犧牲は止むを得ずとの信條より出でたるものであらう、又あのやうな大事業の遂行には、必ず附き纏ふべき紛糾とは云へ、幾許か目的を遂ふに急ぎ過ぎる觀なきに非ずである、尤も臨益水利の苦狀は君に非常の教訓を與へ、大正水利ではその轍を覆まず、殆ど問題が起らなかつたやうである、

△友人に對しては頗る情誼に厚い人らしい、君の店員は君を神樣のやうに敬つてゐるので分かる

△事業家——興業、水利、畜產、中の事業こして、君が獨步してゐる、又朝鮮の今後は水利事業の勃起を目的とするであらう、水利が各地に興さば百萬町步の天富は容易に完全活きて來るのである、總督府も八年度から水利事業の補助費を少額ながら豫算に計上し、積極的に勸策を講ずるらしいが、君の力を要する事は今後恐らく餘程多からう、目下全北東津江平野、萬町步の水利を計畫し、更に滿洲でも同樣の目論見を進めてゐる、君は朝鮮の水利事業中なすべきものを終つたら、支那に進んで揚子江岸に進出したい、そこには氾濫を受くる水田の面積のみが、日本の水田以上だから少しは大きい事が出來ようと言つてゐる、其の成功は兎に角、要するに快男子……

五色饅頭

店に觸口にはなほ奇拔なのが有る　はるの山こいふ書に

勢の客、大船にのりて沖へ出でけるに、波荒くして船動かず、船頭申しけるは、是はきはめて鰐の見入りしならるべし、持ち物又は扇なぞ海へ投げて御覽なさるべしこて海へ投げければ、人の侍の扇、つぶ〳〵こ吞き込みけり、侍申やう、さて〳〵是非なき事ながら、大勢の乘合の命にかゝはる事なれば、とて、船ばたに出て見れば、大きなる鰐、口をあきて居ける、侍口をしき事に思ひ、大きな石を投げつけたれば、ぐつと吞みこみける、それゆゑ大勢手傳うて繩をひきければ、鰐の腹はらわたひきかゝり、綻にかけてぐいと引出しけれ、鰐はわたをぬかれて捨こなりて、ひら〳〵と流れける。

こいふのがある、はじめは殺切の型の神怪譚にして、終りを輕く茶化し、皮肉とも、人を馬鹿にした滑稽ともつかぬ、……絕滑である。

或る脚本家
武者小路實篤氏著　新刊
四六判三百廿頁・定價壹圓五拾錢送料八錢
著者曰く、「書いて居る時に全力を出した……どの頁にも自分が生きてゐると思ふ」と。著者最近の作二篇を集めたものである。

美しき牢獄
故　素木しづ子遺著　新刊
四六版三百卅頁・定價壹圓五拾錢送料八錢
大なる未來を有し多くの期待を受けて居た故人が遺した唯一つの長篇小說　モデル問題で一しきり文壇を騷がせた作である。

午前二時
長田秀雄氏著（定價五拾錢　送料八錢）再版出來
東京市芝公園　電話芝六九七番　振替東京一四一七七　玄文社

英國皇室御用　帝國遞信省御用
RUDGE-WHITWORTH LIMITED
ラーヂ自轉車
絕世の信用と名聲を有する自轉車は
安心して乘れる精良無比の自轉車は
◇有名なる自轉車店に販賣す◇京城南大門通三　日米商店京城支店

最近檢定　市町村名鑑
前內務大臣　水野鍊太郎閣下
法學博士　添田敬一郎閣下　序
內務省地方局長　內務省地方司員　編纂
菊版總クロース金文字入函入　定價金參圓　送料十二錢
發行所　北隆館　市町村名鑑發行所

新案獨學　イロハ辭典付　鮮語自在
誰れにでもすぐに間に合ふ　上手になる理
ポケット形二百頁　定價五十錢　送料二錢　代金引換七十錢
賣元　京城太平通　京城日報社代理部　振替京城三〇〇番

頗る便利な　實用全書　萬人必讀　五冊合本完成
一、日用書翰文　は四季の書状文より婚禮祝賀見舞事故兵事貸借の請求等にも至る迄遺漏なく本書さへあれば思ふ通りの手紙が即座に書き得らる
二、日用辭典　は手紙や文を作る時一寸忘れた字をスグ引出し又新聞雜誌の熟字もスグ分かる輕便な實務辭典也
三、式辭ご挨拶　は祝賀弔祭宴會歡迎招待會其他あらゆる會合に於ける式辭挨拶を載す
四、現行諸願屆書式
五、草書字引
五冊合本
東京市……有教社

最新刊
朝鮮教育法規提要　定價七十五錢　送料八錢
心の王國　一、三〇
傀儡師　芥川龍之介著　一、四〇
心頭雜草　一、四〇
再び草の野に　田山花袋著
文は人なり　縮刷
是丈は心得おくべし　加藤美倫著

大阪屋號　京城本町一丁目

增訂縮刷　文は人なり
高山樗牛遺著
姉崎嘲風編　正價壹圓五拾錢　郵稅六錢
最新刊
本書出でて版を重ぬる事五十、樗牛歿後十七回の忌辰を迎へ茲に全部を改訂して更に『文は人なり』の實を宣揚す。加ふるに新たに樗牛・嘲風往復集を編して、二人が思想交換の跡を傳へて、面目一新の『文は人なり』を公にす。

墓地再版　趣味の文から
磯千鳥遺著
廚川白村・細田枯萍共編　正價壹圓六拾錢　郵稅十錢
過去十年の間、磯千鳥、服部清子の變名を用ゐて雜誌「女學世界」に寄稿した一宮文學士の遺稿である。非凡な文字、警拔な縱策、殊に氏獨特の境地ともいふべき女の日記、……せるは妙し、たしかに文壇の一異彩である。

二卷再版　縮刷　二葉亭全集　全三冊
長谷川四迷遺著
第一卷　うき雲　其面影　平凡　第三版
第二卷　ツルゲーネフの卷　あひびき　めぐりあひ　片戀　くされ緣　夢がたり　うき草　猶太人
各冊壹圓八拾錢　名取春仙裝幀　送料　市外四錢　地方八錢

遽然再版　眞筆版　たけくらべ
樋口一葉遺著
十大家の追想錄　正價壹圓四拾錢　郵稅六錢
一葉女史の「たけくらべ」は明治文壇の名作たると共に、今や我邦文學中の正典たり。本書は女史の眞蹟原稿全部を凸版に起し、添ふるに女史を知れる十大家の追想錄を以てす。能文の女史は又能書の聞え高かりき、本書を繙く者は偉才を抱いて夭折せる不世出の女作家その人の風丰に接するの思あるべし。

史蹟めぐり
文學博士　大類伸新著
口繪二葉挿入寫眞豐富　正價壹圓貳拾錢　郵稅八錢
最新刊
「國破れて山河在り、城春にして草木深し」幾百年の往時を語る舊山河に對して誰か追懷の情に耐へない者があらう。本書は著者が十年來諸地に史蹟めぐりを試みて、古城に或は神社佛閣に、或は傳說俚俗に古を偲び今を思うて綴りなした史蹟であり感想であり、又紀行文である。山水勝地に遊び歷史に趣味を有する人に薦む。

候忽再版　溫泉めぐり
田山花袋著
口繪四葉挿入寫眞豐富　正價壹圓貳拾錢　郵稅六錢
日本の溫泉を描いてこれほど忠實に眼の前に見えるやうなものはこれが始めてです。それに溫泉そのものばかりではない。溫泉に行く途中の山や川や名勝や、さういふものまで詳しく親切に書いてあります。文章は著者獨特の藝術的氣分が橫溢してゐて、讀んでも讀んでも興味は盡きない。

東京市本町　株式會社　博文館　振替東京二四〇番

◇討議の形式 多數決に依らず

講和本會議に上程さる可き諸問題は多數決に依るに非ず豫め英、佛、米、日、伊五國の間に一致を見たる條項を討議するに過ぎず而して萬一五國の誘引に反して其提案に承認を與へざる事ある場合には強制的に之を承認せしむる事あるべく要するに國際關係の新形態は各利害關係國間の直接協商の併立にある可し各國會商に於て各自の一致點を設定し本會議に於ては單に形式的に之が協定を決議するに過ぎざるなり(巴里電報)

◇強制的領土占有を中止せよ 世界各國に通告

廿四日最高軍事會議散會の後ウイルソン氏及び英、米、佛各首相、外相は小時間日本代表者と會商を遂げ無線電信を以て世界各國に「強制手段を以て領土を占有するは却て之を行ふ諸國の要求權を薄弱ならしむるに至る可し彼等にして正當の取扱を受けんとするに於ては威力を用ふるを中止し公明正大に講和會議に其要求を提出するに努めよ」と通告せり(巴里電報)

◇國際聯盟案提出

廿五日聯合側總會議を開き國際聯盟を商議し議事を公開せり首相ロイドジョージ氏は聯盟案を提出す可く同案は概括的に簡單に記述し僅々數條より成る可し又ウイルソン氏も聯盟案を提出する筈なるが何れも説明演説を爲す可し最後に國際聯盟特別委員會を設定し同問題を調査し又賠償額其他を調査せしむ可し(巴里電報)

◇軍隊配置委員任命

聯合國最高軍事會議は休戰期間滿了迄西部戰場に於る軍隊配置の爲め委員を任命するに決せり(巴里電報)

◇獨逸聯邦の分割

伯林公報に曰く獨逸は人口一千萬を有する大伯林を盟主とする八個の聯邦共和國に分割さる可く爾餘の國は普魯西、シレシヤ、ブランデンブルグ、索遜、ウエストフアリヤ、エツセ、ラインランド等なるが是に加て獨逸、墺太利聯邦を建設さる、事となる可し(倫敦電報)

◇土耳其鐵道管理

英佛兩國軍隊はバグダツト鐵道を含める土耳其鐵道の管理に任ぜり(倫敦電報)

◇愛蘭首相長官任命

愛蘭議會は首相各省長官四名を任命せり(倫敦電報)

◇軍司令官協定

聯合國政府對オムスク政府間に軍司令官に關する協約締結されたるがコルチヤツクは最高司令官、ジヤナンは戰線司令官又ノツクスは後方司令官ガイダは西伯利總司令官、大谷將軍は依然極東總司令官たる可し(浦鹽電報)

◇最高軍司令部移轉

莫斯科著電＝ペトログラードの警備首は一月十五日以來同盟罷業を爲し又トロツキーはノヴゴロツドより最高軍司令部を移轉すべきことを聲明せり(東京特電)

◇和平會議の段取

莫斯科著電＝南北和平會議は渡嵜式を南京にて擧行し上海にて會議を開く事となる可し南方代表は廿八日迄上海に來着の筈なれば二月五日頃より本會議を開く可しと(東京特電)

◇凱旋最高幹部通過

▲馬耳塞港 は米國其他の……入電に依れば大洋海運の梅丸は三四千噸の荷を積んで昨年十一月二十三日同港に入港したる後船舶……他も多くは之に準じて動くも三四……日を要する有樣なりと……にて若し右日數を徒らに浪費する……尤も……契約は壹百五十……から可し(東京)

◇博邦公發期

式部次長伊藤博邦公は廿九日東京發渡鮮の事に決定せり(東京特電)

▽博邦公渡鮮の用向

式部次長伊藤博邦公渡鮮の用向は李王、王世子兩殿下其他に拜謁し國葬儀の打合せを爲し國葬儀の來歷內容を説明して聖旨の有難き事を傳達するにあり公は用向濟み次第一旦歸京し御葬儀前更に渡鮮の由なるが今回渡鮮の際は伶伯爵も一名同伴の筈(東京特電)

◇國葬事務所の設置

李太王殿下國葬事務所は東京にては宮內省內及び內閣に設置され內閣は高橋翰長、宮內省は伊藤式部次長其主任たる由傳へらる(特電)

◇臨時外交調査會開催

臨時外交調査會は廿六日午前十時廿分より首相官邸に開き寺內伯を除き委員全部出席講和問題西伯利鐵道問題に就き協議し正午午餐を共にし引續き協議せり(東京特電)

◎支那和平會議 南方側の提議

▲南方意見 支那和平會議は愈二月初旬より南方側の主張通上海外國租界に於て開催する事に南北兩當局の意見一致せるが南方側は會議開始の先決問題として左の諸條件を北方に對し提出せり

第一、陝西、福建土匪討伐中止其後の成行に付北方側の報告を聽取する事

第二、軍機借款及參戰借款の性情に付き北方側の辯明を聞く事

第三 關税剩餘金引渡問題の解決

▲北方要求 右の內關税剩餘金問題は昨年九月北京政府が北京駐剳日、英、佛、露各國公使並に關係銀行團に對し總額一千二百萬元全部の引渡を要求せるに始まりしものなるが當時四國公使團並に銀行團は(第一)將來支那關税收入は引續き好況にあるや否や疑問なりとの經濟上の理由及(第二)北京政府が之を政費に流用するの虞ありとの政治上の理由との二に依り斷然支那政府の要求を拒絶せり

▲借款條件 然るに北京政府は舊節季末軍隊給料其他諸般政費支拂の爲め資金を要すれども此上中國銀行或は交通銀行をして不換紙幣を發行せしむるは不可能なるを理由として本年一月再び四國公使並に銀行團に前記關税剩餘金の交附方を要求し來れるより外交團は一月十日會議の結果再度支那政府の要求を拒絶せるも其後左の如き條件付にて交附方承諾の旨回答せり

第一、一月廿五日迄に和平會議を開く事

第二、右會議の席上に於て關税剩餘金引渡に關し南方側より異議無き場合に限り引渡す事

▲南方抗議 右公使團會議の結果を北京政府に傳達すると同時に廣東駐在各國領事をして廣東軍政府にも之を傳へたる所軍政府は外交總長伍廷芳氏をして主席公使たる英公使ヂヨルダン氏に對し左の如く電報し來れり

第一、一月二十五日迄に和平會議を開催するは到底不可能なり蓋し一月二十日前後南方代表は上海に到着の筈なればなり

第二、斯の如き短時日の間に本問題を解決するを得ず要するに外交團は南方側として實行不可能の事實を提議するものにして結局は畢竟一月二十五日に至れば無條件にて北方に關税剩餘金を交付せんとするものに外ならずと云々と述べ外交團の再考を求め來れりと(北京)

◎鮮農滿蒙移植策(二)

滿鐵地方課技師 協待初郎氏談

▲內鮮農植民 事業は全然之れを東洋拓殖株式會社に委囑する事とし其條件並に要領は左の如くすべし

(一)政府は植民事業費として十年間毎年凡そ一百萬圓宛を東拓に附與する事

(二)東拓は毎年內地農及び鮮農各一千五百戶以上合計四千戶以上の農家を移住せしむる事

(三)東拓は十年間に內地農二萬戶以上鮮農三萬戶以上合計五萬戶二十萬人以上の農家を移住せしむる事

(四)移住せしむべき內地農を各々大中小の三種に別ち其各表の如くし夫々適當の年限を定めて獨立の自作農たらしむべし但し鮮農には小作を許す事

	內地農 田一畑	鮮人農 田一畑
小農	二一五町歩以上	一五一三町歩以上
中農	六一八町歩以上	四一八町歩以上
大農	二一三町歩以上	一〇一二町歩以上

(五)一地方の移住農家の戶數は大農一〇パーセント以上中農二〇パーセント以上他の七割以內は小農とし云ふ割合を標準とし前二三項の戶數の計算に付大農一戶に付五戶中農一戶に付二戶と做す可し

(六)同植民は成可く制限避け成可く密住制又は折衷制を採り移住村落は日鮮農合計五百戶を最少限とし支那人の雜居者は皆無なるものをよく選擇すべく……經營力は各戶當屈する者の外は勞働補充の爲め若干名を限り一定の居所に住ましむる事

(七)部落には可成會社の干涉を減じて自治的經營に依らしむべきも治安、教育、衞生、宗教、勸業等に就ては會社と協議すべく又夫等の經營に就ては當分會社より適當なる補助を與へし

▲前述の如き 方法に依り扶植せる內鮮農業植民村落は自ら治むるの覺悟なかる可からず現行條約に依れば滿蒙に移住せる內鮮人は支那官憲の支配を受くる事支那人と異なる事なく其植民村落は支人の村落と同樣の待遇を受くべきは言ふまでも無し然るに滿蒙の支那民政は未だ甚だ幼稚にして人民は租税を納むるの外何等官憲との交渉なきの觀がある唯地方に治安維持の爲め警吏が在るのみである故に我が植民農村は自ら其事を裁斷決行するの外はない苟くも外國領土に植民村落を建設する以上其▲自治的經營は行政的にも將た社會的にも相當の成績を示し一個の小日本の如く四隣の模範と成らなければ成らぬ然るに移住後數年を經ずして生活難に陷り新農家を營み而も多額の債務を負ふ新村落は自力を以て速かに健全の發達を爲す事は容易ならざるを以て責任者たる東拓會社は上述の目的を達せんが爲めには所要保護の途を立てなければならぬ

◎水利普及可能の朝鮮水田

朝鮮現在の水田百五十萬町歩中に水利の便を有せるは約三十四五萬町歩にして結局百十餘萬町歩は雨にその灌漑を仰がざるべからず鮮米の增産その他より水利事業は刻下の急務として識者の間に唱へられつゝあり總督府に於ても明年度豫算に土地改良の爲め水利補助費を計上したる今朝鮮の天水田百十餘萬町歩中將來水利を普及せしめ得る面積如何に付不二興業の藤井寬太郎氏は目下の見る所にては今後の水利事業の及田は約三十萬町歩內外ならんと云ふ尤も經費を厭はず乃ち國家の力を以て水利施設を加ふるとすれば格別なれど先づ予の經驗にては一反歩に三十圓以上を工事費に投ずる事は算盤に合はずと思はる、に付右額以下にて施工し得らる、は三十萬町歩にして經費約一億圓を要す唯今日の如く米價高値を保てば隨分一反歩に四十圓を投ずるも引合へど現今の米價は常調にあらず事業經營の基礎を置くは危險なりと

◇貴族院哀悼文

貴族院議員黑田長成、德川賴倫兩侯爵外三十七名の賛成を以て李太王殿下薨去哀悼決議案を廿五日貴族院に提出したり其案文左の如し(東京特電)

哀悼文

大勳位李太王殿下溘焉トシテ薨去セラル痛惜曷ソ堪ヘン貴族院ハ茲ニ謹ミテ哀悼ノ誠意チ表ス

◇國葬準備會決議

李太王殿下國葬準備會は二十五日宮內省式部職伊藤次長室に於て開かれ高橋內閣書記官長以下參集協議の結果朝鮮には僅少なる可く朝鮮側に要す可き榊は根付にて東京より携行することゝなる可く朝鮮固有の慣例を尊重參酌其他の事項を決定せり(東京特電)

◎京城上半商況

鮮銀營業課調査

一月上半の京城商況は左の如し

▲米穀 期米高に連れ強硬裡に越年せし儘相變らず地搖らぎの沿線もの共に充分迴著せざる爲め氣配持合にて平均三十二圓六十三錢を以て下半に入れり

▲粟 當季に入り一般米高に連れ買行好況を呈し新古共に品薄みを告げ一方輸送困難なる爲め在荷減退の一方にて出廻り少く益々引締り中旬海城物十七圓三十錢、昌圖物十六圓五十錢を稱へたり

▲大豆 初市以來これも米高に連れ市況好調を辿りしが中頃後出廻潤澤の爲め相場も頭を打ち平均十六圓九十錢の値頭にて下半に入れり

▲綿布 強硬裡に越年せし該品は米高と舊正月當の仕入頻繁となれる爲め中頃金巾、細布、綿ネルの如き三品は一段の騰勢を示したるも地方筋の買注文一段落を告げたる爲め漸次閑散の姿を加へ三エー票四百六十二圓と下押し下半に入れり

▲牛皮 引續き下押しを辿りしが又東京筋の出合兼ね時機見送りの姿にて商內も捗々しからず相場も中旬大皮六十七圓、中皮六十二圓、小皮七十六圓を示せり

▲金融 一般商況前述の如くにして越年後資金の回收捗々しからず一方新規資金の需要も亦目立たるものなきが爲め金融逼迫の裡にも稍緩漫の趨勢を示しつゝ下半期に入れり上半期末の京城組合銀行帳尻左の如し

	前年下季	當月上季
預金	四九、三六四、〇八	四九、一四七、四五
貸出	五六、一四五、七五一	五六、四六二、〇四

◎世界の大勢と軍備(一)

參謀本部第二部長陸軍少將 星野庄三郎氏談

最近に於ける米軍の總員は無慮二百萬と註せられてゐるが若し之が野戰であつたならば決して有力なる軍隊とは言ひ得なかつたであらう即ち烏合の勢であるといはなければならぬ、けれ共最近の歐洲戰爭に於けるが如き塹壕戰に於ては戰術上頭數の多いのが▲唯一の強味 である如上米兵の參加は佛軍の大なる強みであると共に獨軍の大なる脅威であつた昨年の三月獨逸は猛然大總攻撃を開始し其以來獨逸の攻擊にはさしも堅固を誇る佛軍の戰線殆ど危地に陷つたのである一擧にして雌雄を決すべく全勢力を擧げたる昨年七月の即ち最後の總攻擊には實に佛國戰線の狀況は全世界をして手に汗を握らしめた、然るに突如フオツシユ將軍の逆襲が行はれ之に依つて猛勇なる獨軍も無慘にもシヤンパーニユに於て慘敗の憂目を見るに至つた此の大激戰中に佛軍の中に參加してゐた米軍の働きの勇壯であつたことは獨軍にとつても意外なる驚異であつたことゝ同時に獨逸はこれに鑑みて▲最後の勝利 に對する期待を放棄し遂に米國大統領に縋つて和議を申し込むに至つたのである、米國の得意や實に思ふべしではないか、かくて米國大統領ウイルソン氏は自ら講和會議に出馬するに至り其の提げたる問題は國際聯盟海洋の自由等實に大問題であつて而かも民主々義を以て全世界を一繩にせんとしてゐるではないか壯觀といへば壯觀であらう此提示された諸問題の與へた世界的な響は甚だ大なる者で我日本帝國に於ても思想上に受る影響は▲決して僅少 でない近來新聞雜誌に於ても麗々しく書き連ねてあるを見ても其の反響思ふべしである元來世論に沒交渉な我々軍人社會にすら青年將校などが刺戟を受けて居ることも多少變つた調子があるのである。即ち從來の將校は年の始めの祝盃には身も世もあらず眞に無邪氣に騷ぐを常としてゐたのに今年の正月には其無邪氣を常とした青年將校が之等問題を掲げて眞面目に議論に來るに至つた即ちその人心に刺戟を與へつゝあるとは以て知るべきではないか、即ち世人の一部は世界の平和といふ事が永遠に保持さるべきものであらうか。若し▲世界の平和 が永遠に保持され得べきものとすれば軍備といふものは決して必要なるものではあるまいかと云ふ樣な感を抱くに至つたのである茲に於て不肖乍ら予はかくの如き世界の大勢に就て少しく愚見を述べて見たいのである(於一防一會席上)(京安ゟ完)

◎吉會鐵路總辦

新任吉長鐵路局々長楊權氏は吉會鐵路局總辦兼務を命ぜらる(吉林)

◎府收納狀況

京城府に於ける收納事務は客年十月より振替貯金に依る收納事務を開始せる所以來漸次好況に向ひ居れり前年同期に比し振替貯金に依る納税者漸次增加の趨勢にて後者は人員に於て前者の二倍半強、金額に於て約五倍の多額に上り振替貯金收納事務は漸次好況に向ひ居れり今第三期分第四期分に就き府金庫扱及び振替貯金に依る收納狀況を示せば次の如し

▲府金庫收納の分

	人員	金額
第三期	一、六三八	五、〇八八、三五
第四期	九二七	二、五三三、七五

▲振替貯金收納の分

	人員	金額
第三期	一、三二三	五、二五六、五〇
第四期	三、〇五三	一〇、八八二、五五

▲金庫振替合計

	人員	金額
第三期	二、九六一	一〇、三四四、八五
第四期	三、九八〇	一三、四一五、三〇

◎宋子爵等通過

宋秉畯子及び金東完、韓相龍の兩氏は二十六日朝來釜直ちに歸城の途に就けり(釜山特電)

◎早田主筆東上

本社主筆早田元道氏は廿七日朝出發東上二月十四日歸城の筈

◎下士卒休暇歸省

……を多からしむる爲めに下士卒に與ふる慰勞休暇は之を緊縮し置き必要の時機に……るものに對しては豫て緊縮した……し以て爲し得る限り下士卒在隊の爲に生ずる地方產業上の打擊を輕減せしむることに目下其筋に於て……とあり(東京)

□東萊溫泉より

大町 桂月

掛崖、五龍背溫泉に滿蒙の塵を洗ひしが又東萊溫泉に韓山の塵を洗ひ申候小西行長の陷れたる東萊城址は僅々十數町の外に在之候國と國の昔の喧嘩湯に流し意趣も殘さぬ時節に來宿の名を蓬萊館と申候

韓山におびたる塵も湯に流し若返りたる蓬萊、やご

梵魚寺へ參り金井山に上り候昨日は溫泉に候今日は東萊邑を經て海雲臺溫泉へ參り申候

湯を出て海見て日向ぼつこ哉

釜山へは四里電車あり、自動車もこれあり候へども明日は掉尾の行動として膝栗毛に讓ち峯悠ひして參り申す可く候金海よりの贈句は左の腰折に改め申候(十二月二日)

加羅の國千年の古根朽ちもせでさくら花さく君が代の春

人事消息

▲白石赤司氏(日本木材工業株式會社取締役)廿六日夜入城浦尾へ

▲松村茂(大倉組安東出張所支配人)同上天眞樓へ

▲菊池謙讓氏 同上不知火へ

▲太垣丈夫(京城通信社長)廿六日夜下關發廿七夜歸城の筈

◇烏瞰錄◇

先達て露國廢帝は殺されて居らぬと云ふ事を烏渡紹介して置いたが又同じ樣な說が傳へられて居る然し眞否は未だ保證の限りでないが何うも眞實かも知れぬと頭を捻らざるを得ない▲と云ふのはシ……大公が實際廢帝の愛孃タチアナ姫からの手紙を受け取つたと云ふ事である▲夫からエカテリンブルグで死刑に處せられたのは實際の廢帝ではなく侍從の一伯爵だつたと云ふ▲死刑を執行すべき役目に當つた過激派士官が血も淚もある男だつたので身代りを勸めた▲而して其伯爵と廢帝とは死を爭つたが遂に廢帝は近侍の者から無理強ひに說き伏せられて結局伯爵が身代りに立つた▲之れは成る程有り得べき事で如何に廢國で臣の無い事がチト不審に思はれる程有り得べき事で彼の際一死以て殉ずる一人位は出て居た位だつたから▲ワルソーから伯爵が確かに身代りになつたと云うて居る▲此の說の一伯爵の身代りとは恐らく此の前お付武官だりしタチチエフ伯爵の事を云ふのではあるまいか▲又スペイン風邪が流行する此奴は頗る以て有難くないが何としても此撲滅には強制的手段と公德心が必要だ▲米國西沿岸の各都市では此の豫防策として少しく怪しいと思ふ者には官憲で時間を定めて在宅を命ずる▲而して強制健康診斷を行ひ患者の家には『此家に流行感冒患者あり』と云ふ旗を出させ交通を絶對に遮斷する▲若し違背した者があつたなら遠慮なくドシ〳〵投獄する相な▲チト亂暴の樣だが自由尊重の米國でも之れ位にやつてゐる▲ナマぬるい事では撲滅はむづかしいだらう

旬報 新田商店

未だ灰汁拔せず

財界四圍の事情は尚ほ迷ひ易く……[illegible]

新田耕市商店
公債株式現物問屋
京城櫻井町一丁目
電話九七〇番 一八八一番

第六十二回營業報告

貸借對照表

貸方(負債之部)

科目	金額
資本金	五、〇〇〇、〇〇〇・〇〇
諸積立金	[illegible]
支拂未濟配當金	[illegible]
貸借代金	[illegible]
引受爲替手形	[illegible]
預り金並ニ未決算金	[illegible]
社債	[illegible]
未拂社債利子	[illegible]
社員恩給資金	[illegible]
職工保護獎勵金	[illegible]
前期繰越金	[illegible]
當期純益金	[illegible]
合計	[illegible]

借方(資產之部)

科目	金額
拂込未濟資本金	[illegible]
工場原料品仕掛品製品	九、七二七、四一〇・五三
積送品	[illegible]
銀行預金	[illegible]
假出金	[illegible]
地所建物機械	四、九九七、八一八・二〇
有價證券	[illegible]
工場要具並ニ準備品	[illegible]
工場增設	[illegible]
現金	三、八〇八、六三二・五六
合計	[illegible]

損益計算書(收入之部)

科目	金額
當期總收入金	[illegible]
當期總支出金	[illegible]
差引	[illegible]
建物機械什器要具減價償却	[illegible]
再差引當期純益金	[illegible]

利益金分配

科目	金額
當期純益金	[illegible]
前期繰越金	[illegible]
合計	[illegible]
積立金	[illegible]
社員恩給資金	[illegible]
職工保護獎勵資金	[illegible]
役員賞與金	[illegible]
配當金(年四割九分)	八四三、七五〇・〇〇
後期繰越金	五二三、八七一・〇〇

右之通候也

大正八年一月二十二日

內外綿株式會社

取締役頭取 川邨利兵衛
取締役 阿部彥太郎
同 武居綾藏
同 天木繁二郎
同 川邨兼三郎
同 大西喜一
監查役 浮田桂造
同 牛田虎之助

取締役川邨利兵衛ハ任期滿了ノ處再選重任ス

模造品出御注意乞

オキシパサー

本器は科學界の泰斗マイケルフアラデー氏の發見に係るイグヤア等の原理に基くチムズ氏の合理的氣體藥治器に利用して使用する…

本器は脈搏の調整を強く、病源の根本的に絶滅せしむべき偉大なる中性の物理治療法の多年發明の效力を臨む…

効力永久にして器械代の外は藥品等の費用を要せず何人も使用し易く危險なき故婦人子供も容易に使用する事を得、ウマチス神經痛等…

特約販賣 ◆本品は輸入創始明治四十四年なり切にパサーの名に御注意 京城太平通 電話六〇〇九番 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番

定價金參拾九圓

木材新荷着

北海道松 一分五厘板數萬坪 上中品位ノモノヲ撰別ナクシテ詰束ナシアル故使用上特殊ノ利益アリ

右仁川海岸著荷 該地御入用ノ御方樣ハ同地ヨリ直接輸送ス

鴨綠江産 紅松 良原木 二間三間三間半四間 尺五寸以上

右京城著荷 但遠地御入用ノ御方樣ハ鴨綠江岸及元山海岸ニモ貯藏有ル故同地ヨリ直接輸送ス

右薄利商談可仕候

京城府黃金町 丸一材木店 電話一二三八番

出張所 新義州本町 電話二五八番

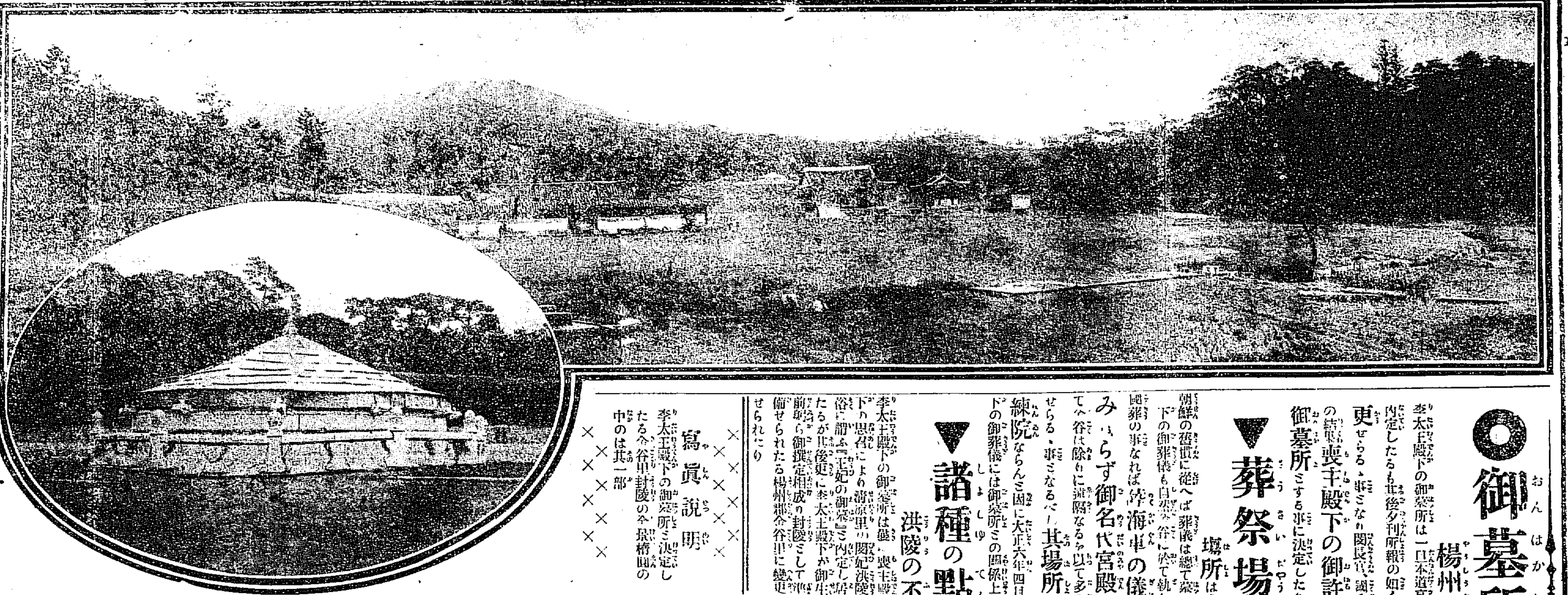
平壤京谷商店製
耐火煉瓦販賣
京城古市町
苫米地商店
電話九四一、三二〇八番
振替京城五三番
(2)

銘酒

金釜 銀釜 菊正宗 樽正宗

特約店 三巴京城支店 電話三七、八五、〇三番

八角鋼、黑鉛用金網、眞鍮物製作
ストーブ各種建築金物
地方御注文は迅速に御便宜相計り可申候
商報御入用の節は御一報被下候はゞ直に御送附可申上候
直輸入商 京城本町一丁目 佐野彥藏商店
電話一六三番 振替京城一二〇番



寫眞說明
李太王殿下の御墓所と決定したる金谷里封陵の全景楕圓の中のは其一部

◎御墓所決定
楊州郡金谷に御變更

李太王殿下の御墓所は一旦本道高陽郡崇仁面清涼里なる洪陵と內定したるも其後夕刊所報の如く楊州郡金谷里に變更せらるゝ事となり閔長官、國分次官以下、御親族等と評議の結果喪主殿下の御許しを得愈よ同地を御墓所とする事に決定したり

▼葬祭場特設か
場所は十中八九まで訓練院

朝鮮の舊慣に從へば葬儀は總て墓所に於て執行するを例とし李太王殿下の御葬儀も自然金谷に於て執り行はるゝ事となるべきも今回は國葬の事なれば陸海軍の儀仗兵を附せらるゝのみならず御名代宮殿下の御參列もあり御葬儀場としては金谷は餘りに遠隔なるを以て多分適當の地を卜して葬祭場を特設せらるゝ事となるべく其場所は十中の八九まで訓練院ならんと因に大正六年四月を以て執行せられたる李埈公殿下の御葬儀には御墓所との關係上特に葬祭場を設けたる例あり

▼諸種の點を考察して
洪陵の不適當なるを發見す

李太王殿下の御墓所は最初喪主殿下の思召により清涼里の閔妃洪陵に附ふ『王妃の御墓』と內定し居たるが其後更に李太王殿下が御生前自ら御撰定相成の封陵として準備せられたる楊州郡金谷里に變更せられたり

▽變更の理由は

發表せられざるも右は二十五日武藤祭祀課長、權藤營繕課長の兩氏が地相監を從へ金春熙、金宗漢の兩明府及閔泳達氏等と共に實地踏査を遂げ諸種の點より考察して洪陵の不適當なる事を發見したるが爲めなりと云ふ今其の主なる點を擧ぐれば若し洪陵を御墓所とするとせば現在の閔妃の御墓に合葬するか但しは今一つ土饅頭を築きて別葬するか二途の中何れかを選ばざるべからず現在の規模としては

▽合葬は對體に

不可能なるを以て更に土饅頭を築くの外なきも元來同所は西側に谷を控へ土饅頭を築くと云ふ事は地形上餘程の難事たるべき處あり假令左程の難事にあらずとするも地均し土盛り等に少からぬ日子を要すべく斯くては到底御葬儀の間に合ひ兼ぬる處もあり旁洪陵よりも距離は遠けれど既に

▽一切の準備整

ひ居る金谷を選定するも差支なき次第なりと云ふ變更する事となりたる金谷は洪陵に比すれば區域も廣く且最初より合葬し得るやう二個の墳墓を設備しあるやにて李太王殿下の御靈愈々此處に鎭まりまさば洪陵なる閔妃の御靈も總ては此處に遷さるべしと

□御誄幣帛御下賜

李太王殿下國葬儀舉行の際は畏き邊より御誄並びに幣帛並に御供物を下賜せらるゝ趣き洩れ承る

▼森嚴なる淨域
廣さ實に六十餘町歩に亘る

金谷里の封陵は二十年前に李太王殿下自ら御撰定になつた場所だけに閑雅な風趣と云ひ御墓所の結構と云ひ殿下の御靈骸を鎭め奉るところとしては洵に他に得難い所である

◇封陵は　京城を距る六里にして春川街道に面してゐる、前面には鬱々たるポプラの並木が蟠み繞りて年古りたる松林森嚴の氣が罩め

◇墓域は　廣さ實に六十餘町歩に亘り一歩門內に入れば先づ其廣大さに驚かれる。封陵は寢殿の眞裏に在りて堆く盛られ其上に灰白色の石を以て干支に因める十二角形の玉垣あり其上は亞鉛屋根を以て蔽ひあり長年月の間何等の損傷を見ず

◇寢殿は　約五十坪の朝鮮式建物にして莊嚴を極め其他五十坪の更衣室、十八坪餘の碑石閣、祭人室、炊事室等別個の建物あり寢殿の前面左右には太刀を佩ける武人十二支に因める石獸數多並び

◇正門に　近く圓形の池などあり域內には蒼色の芝生一面に擴がりて風塵の氣毫も動かず森嚴にして圓潤、李太王殿下自ら御定選ばされたる所以も亦明かに拜察される

◎小賣商が惡いか
米價はジリ〳〵と騰つて來た
京城府の外米廉價分賣開始

京城の米價は又もジリ〳〵騰つて四十二錢と云ふ昨年夏米騷ぎの當時の高値と同樣になつた此外米高を防ぐには內地米下落の反對による自然的下落の無い限りは秘出禁止を行ふか又は外國米をドン〳〵入れて人爲的下落手段を講ずる外一寸

▲下落の見込　が立たないと云ふので一般市民は我利心を發揮して愈買ひ溜つて來た結果米價は益々騰ると云ふ頭を示して來た殊に市內の小賣商の中には輸入税免除を受けた外米を元來なれば廿四錢位に賣れる筈のものを卅二錢にも賣つて居る即ち右に就いて彼れ是れ七八錢も儲けて居る處がある是れでは折角總督府が輸入税を免除して

▲く市民に　廉價に下げる樣と云ふ精神に背く事となつて道徳上より云つても甚だ面白くない事であるのは獨り小賣商の罪ではなく元賣捌きたる某商會の罪が大である何故ならば小賣商に賣下ぐる條件を附せなかつた事が第一の誤りであり又某商會の如きは此外米を買ひ込んで內地へ逆移出して一儲けしようと計り其筋から嚴しく戒告された者もある位で言語道斷と云ふべきであらう京城府では此米高により下層民の困憊を察し之が救濟の手段として

▲外米五百袋（約三百石）を今村精米所に依囑して白米として販賣させる事となつた其外米は既に今村精米所に到着したので近日から內二百石を各官衙銀行會社等の下級者に分賣し殘る一百石は一般貧困者に分賣する由で價格は殆んど元價の二十四五錢位であらうとの事である

◎貯金獎勵の
標語十五萬
發表は三月か

廿日貯金局で募集した貯蓄獎勵の標語は昨年十一月二十七日貯金局で、標語を廣く一般から募る事を發表してから應募者が頗る多く殊に

締切　りの一月末日も近づいた昨今當局は其整理に忙殺されて居る實際課員の語る所に依ると『官報で發表した翌十一月二十八日から早くも送つて來た者があつて二十三日頃迄の到着數は約九萬六千餘の

多數　に上つて居る締切りも近づいて來たので目下は一日六百通位も來て居る前の活動寫眞フィルム募集の例に見ても締切り間際に應募者が一度にどつと來るから多分十五萬語を超過する見込である採點は公平を期する爲めカードに到着番號を附して

氏名　を除き更に句の類別をして一日に採點出來る方法を執る事とし目下其整理を行つて居るが其の整理は早くとも二月初旬頃に終る見込で愈採點を始めるのは二月五日頃で何分十五萬の標語數であるから發表するのは三月下旬頃であらう』と（北京）

◎殉職事件上場

龍山元町小學校長鈴木志津衛氏が同校出火に際し御眞影を奉安せんとして壯烈な最期を遂げた事は既報の如くである形骸は滅しても其精神は死せず此壯烈な行爲は今尙世の話題に上り種々の意味に於て讃美の中心となつて居るが萬事に抜目のない天活會社では今度此殉職事件を教訓劇として活動寫眞にする事となり既に黃金館から送つた材料によつて撮影に取り懸つた相である遲くも來月初旬までには出來上る筈であるが出來上れば直ぐ黃金館で公開し夫から地方へ持ち廻る事になつて居る由社會の耳目を聳動せしめた殉職事件、崇高な教育家の最期が如何に脚色してあるか見ものであらう

旅行ニ付本日ヨリ約四週間休診致候　一月廿六日　生儀　松村二省

◎蘆花氏の渡歐

德富蘆花氏は廿七日解纜のボルネオ丸にて渡歐の途に就く可し（東京特電）

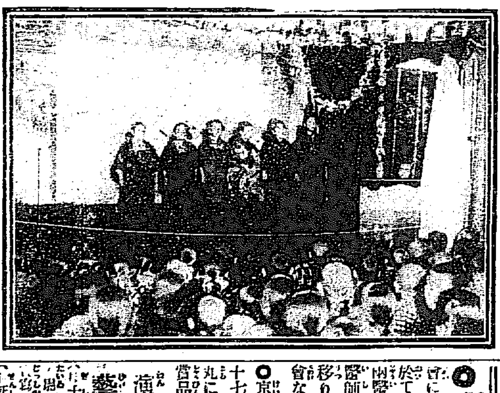
◎連絡船缺航

廿六日夜釜山著連絡船は缺航し壹岐丸は廿七日朝出港の事に變更せり（釜山特電）

◎朝鮮の女流洋畫家

背水氏夫人のお手柄

東京に於ける女流洋畫家の團體朱葉會が三越で第一回展覽會を開いた事は既報の通りであるが其入選者中に京城の洋畫家高木背水氏夫君人がある夫人は家事の暇々に夫君について油繪を學んだので女流畫家として今や立派な腕を有つて居る今度の出品は同會から勸誘を受



★日曜學校の新年大會

本町三丁目淨土宗日曜學校の新年大會は廿六日午後三時から開教院念佛道場で開かれた會場に當てた廣やかな御堂は萬國旗や造花を以て飾り可愛らしい坊ちやん嬢ちやんがお母さんに連られてお姿ばやゝ集まり所て御堂はお下やリボンで一杯となつた、先づ御十念が濟み淸水先生の挨拶があつて餘興が始まつた、吉村先生の輕いユーモアなお話は、坊ちやん嬢ちやん大喝采…次いで唱歌や朗讀や對話があつた中に佐野君一少年の兒玉高德、渡邊稻代、江部順一少年少女の活人畫は非常な出來榮えでそれから『あはれな少女』の唱歌や散髮小僧の對話などあれば上出來で午後五時大ニコ〳〵で散會した

◎産婆新年會

京城産婆會にては廿五日夜明治町宿香園に於て新年會を催せるが藤井河野の兩醫官、丁藤、池田、酒井、衣笠の各醫師出席ニ三の人講話あり後宴移り福引の餘興等ありて極めて盛會なりしと

◎京券賞品授與式

京城券番は二十七日午後一時より旭町一丁目鳥丸にて昨年中の優勝藝妓に對する賞品授與式を舉行する筈

演藝

▲黃金館　二十七日より天活新派悲劇『死大尉』（全二十二卷）久保田清一派、悲劇（三十卷）

▲壽座　新派……

◎俗謠「福壽草」

選者　東海

◇色香世の億染て見たや妹が小袖に福壽草（一等）　武德町廿七　坪山島村

◎解ける氷の下から萌へる、福壽草から春が來る（二等）　平北　寒扇子

◎黃金讚ふ御殿の春な、床にほゝ笑む福壽草　京城花園町一二三　東海

◎日だまり（小窓を洩れて、床に香ほる福壽草　龍山　初間十の字

◎福壽草から春立ちそめて、撫なさそふ花二三輪　龍山　葉ちやん

◎膝が伏居も屋敷の香もれ〳〵、床にやさしく福壽草　平壤　守永妙子

◎若ぎ合せの寒さも解けて、雪の朝の福壽草　龍山　和田玉翠

◎誰も知らせに縫びそめて、春に吹くら福壽草　鎭南浦　山下紫峯

◎お西伯利にさけて、御代も治まる福壽草　柳琴

商業登記公告

株式會社朝鮮商業銀行春川支店登記事項變更大正八年一月拾九日江原道江陵郡江陵面大和町四拾番地ニ支店ヲ移轉シタリ
右大正八年壹月貳拾參日登記
京城地方法院春川支廳

訂正廣告

一月二十七日以降ノ朝鮮總督府官報ニ見ヨ右ボール外党點ハ誤ニツキ訂正ス

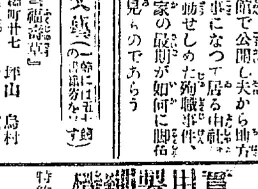
朝鮮總督府

當院官吏部ニ於テ來ル四月入學セシムヘキ生徒ヲ募集ス詳細ハ一月二十五日以降發行ノ朝鮮總督府官報ニ見ルヘシ
大正八年一月二十五日
朝鮮總督府濟生院

完全堅牢第一

實用製繩機

價格大割引



特約販賣店急募
龍山驛前　電車通　酒本商店　電話六〇三番

米國ケーリム社作
鐵道活劇　荒鷲四郎
海底と空中大忍術
澤村四郎五郎一派大活躍

新派悲劇　久保田清一派出演
技士の奇禍
戰死大尉
戰後に於ひて眞に味ふべき紅涙慘たる大悲劇
廿七日より　黃金館

京日案內

一回前金一（又は五日分）每日受付…
通告廣告前金拾錢以上の御申込の節は料金不足…
中込の節は…

貸家　日本建四疊半二疊の庭…場所舟橋町一三五番地　京城大和町三ノ三　起木屋

二階の庭…出小學校前　電話三一〇五番　杉野樂器店

ほねつぎ・うちみ
一切の治療御依頼に應ず
明治町　柔術道場

有給社員募集　月手當二十圓以上交通費支給　希望者は履歴書携帶來談
京城黃金町一丁目　明治公債

砂金・青金高價買入れ
御一報被下出張可仕候
京城旭町一の七　中村分析所

毛皮なめし仕立
鳥獸剝製標本類調製鳥毛羽買入
京城本町二丁目　電話　二〇六五番

店員入用　希望者は來談あれ
二名を要す身元保證人
吉野町　友田運送店

頒ちたい幸福……
勸めたい……此

日本に初めて出來た
美乳

日本に初めて出來た評判の美乳を用ひ出してから學者苦心の新白色素と新美容素との作用に依り色黑に泣いた昔のそれとは全く別人のやうな白色美人となつたにつけても斯うした白色剤を未だ知らない方に一滴注けて進げたらといふ考へが心の底から湧かすには居られません——これは美乳愛用の一夫人が寄せた手紙の一節、誰様も是非美乳を試して御覽。
（定價一瓶貳十五錢＝乳白美乳參十錢）
本舖　大學白粉本店　矢野芳香園

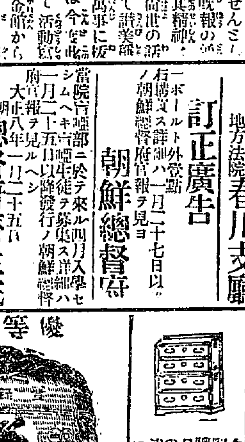
內科　小兒科　入院

院長　醫學士　小林壽
副院長　東北醫學士　戶川武
永登浦分院長　醫師　久保廣次

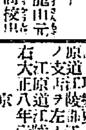
京城旭町一丁目　小林醫院　（電話九六二番）

宮崎式ペーチカの能率並に功果に付ては昨年新設の榮を得ました東洋拓殖會社、大同生命保險會社殿、鮮銀社殿、工業社殿、古城梅溪殿、清水組殿等の方々から少なからざる御賞讚を得し居ります本年新に御普請をなさる御方々や建築設計等に御從事の方々が御設計の中に必ずペーチカを御忘れのない樣に切望致します
耐火煉瓦、無煙煉炭特約販賣
（御用命次第參上）
ペーチカ築設
京城府漢江通八番地
宮崎組
電話龍山九四二・振替京城五四〇九

優等淸酒



釀造元　福岡縣三井郡川村山
富安本店
發賣元　京城永樂町二丁目
富安支店
電話（一〇三九番）　振替口座四三三九番
御用命御引立奉願候



タンスは堅牢にして體裁よく且つ價格の廉なる津村製造に限ります
京城本町四丁目　本町停留所より西へ半丁
津村簞笥店　電話一六七〇番

診察時間

初診の御方は可成午前中
自午前九時至午後六時
京城長谷川町二丁目（朝鮮銀行裏門前）
シメノウチ齒科醫院
電話八一二番

馬耳寒大混雜
汽船出帆大遲延

……船は其荷役を終へて出帆するに迄に少くも一箇月多きは二箇月を要する有樣にて現に最近郵船會社への出帆の運びとなれりとの報あり其泊を要せざる可らず一方傭船は……港より五十四日を要して辛うじて……月十六日……至の如き最近大いに崩落を告げたる……出帆の郵船會社華山丸の如き七百……所かる狀態長く繼續せば自然就航船減ずるか運賃を引上ぐる外なき限りは家業に接するの機會……を除き十四日以內は除役にて許可……

母と子 (九十二)

北島春石作　森田久畫

弱き女 (一)

『先生、お在でなさいやすかい。』と麹町の仕事先から戻るや、女房の顔は碌に見もやらず、植惣は直に森泉の閑居へ押し掛けた。

直樹は今しも外出せんとする矢先で、砂羽織袴に威儀を正して立出でんとしたところなので、直ぐ縁先まで姿を現はした。

『お、親方、何ぞ急用でもあるのか。』

『へゝ。』と頷きながら見あがらけて

『や、何處へかお出かけなさるんで』

『何有、別に行かねばならぬ譯でないが、春から蔵書三昧も氣が腐るので、今日は下町まで出かけようかと思ふたのぢやが……まあ、遠慮なく此方へ通りなさい。』

『ぢや、別にお邪魔になる譯でもねわんで。』と、植惣はづか/\と上がり込んで『俺や奇妙なことを見かけたんで、大急ぎでお知らせに上がつたんでさ。』

『ふゝむ!!どんな事かな。』

『他でもねわが志保子さんの事なんで……何んと此方よりも彼方の悪智恵が長けてればこそ、巧々と出し抜かれてお親子を引掛けられてしまつたが、俺や彼の一件が殘念で堪まらず、岸上だらうが高松だらうが構ふとがねわから、何處で出過つたのが最後、立派に敵を討つてくれる覺悟ばかりか、何うかして奥様にお目にかゝれてゐものと、その後油断なく氣を配つてゐやしたところ、今日ふいとお目にかゝつた譯なんでさ。』

『志保子にか……それゃ何處でれい。』

『だが、先生。』と、今までの凄い意氣組、何處へやら、植惣はぐつたりと思案投首『俺達の苦心も水の泡に……あゝ、さんでもねわ事になりやしたぜ。』

ます/\聞き捨てならぬ口吻。常の沈着さに似もやらず、直樹は膝から急込み氣味に、

『何う苦心が水の泡となつたのだや。』と袴の膝をすゝめて急立る。

『さうお急きなすつたつて仕方がねわ、このお話をするにや相當に順序がありやすから。』と、係うふと存外落着いたもの、植惣は只ならぬ知れぬ嘆息を吐いて『俺や御存知の通り植木屋稼業、祖父の代からお邸へ出入りしてやすが、そのうちでも盆暮に印半纏の一枚づゝ貰わるな。』

『ところが!!』と大きく打消し『俺にやまるで見當もつかねわが、ひりぐ/\縮緬物の裾模様で、お母さん……當世風の大丸髷……何う安く値踏みしたつて、大家の奥様に違ありませんや。』

『ふゝむ……』と、思案にあまる腕組『親の俺を撒いだあとで、嫁ぐうと云ふのではあるまいな。』

『さう冗談におさりなすつちや怨みですぜ。』と、植惣は一段と氣を

つ、と聲く(?)お得意先で、そいつか五百圓で松を買込んだ麹町の清見様……實は四五日前からそこのお庭へ手入れに行つてやすが、今日晝やすみに奥庭まで行つて見ると、離れ座敷から聞き覺のある女の聲……ハテナ確かに耳の底にこびり付いちやゐるが、それが誰さんも即座に思ひ出せず、何うかしてその姿を見ようものだと、いら焦らせてゐるうちに、縁側の障子がすらりと開いて、

奥様のおあとから出て來たのが、その志保子さんだけに度膽を抜かれやしたぜ。』

『すると、その後、志保子は清見と云ふ邸へ女中奉公に住込んださうだ

入れて『俺もあくまで變だとは思ひながら、あさや話の出來ねわや、ちや見かけた甲斐もねわと、わざと廻りして泉水のほとりに網を張込み、先方がこちらへ來かゝるのを待つてだしぬけに飛出し、正面からへエ今日はと挨拶したところ、ふいを喰つて嫗く顔色をかへると、志保子さんはその場へ釘付けるかと思はれたが、よくそこで考へると、彼奴はちつと薬が强すぎやしたぜ。』

直樹の腕組はます/\固くなつた。

名刺　京城　太平堂　電話二七一二番　振替京城三六七番

京城本町　千代田號印舖　電話九八七番

○バタジヤムを經濟的に使ふ法

……趣味が良つて經濟……

バタはまたなか/\高價い、而して此頃の寒さには兎角氷つて固くなりますがバタを經濟に且つ固くるのを防ぐには先づバタ一斤に牛乳一合、混ぜるのです初めにバタを文火にかけて溶けきらぬ中に牛乳を少々宛入れながら混ぜて丁度摩擦をねつた位の加減の時火から下します若しバタを煮立たすとモツ/\になつて失敗します斯うして作つたバタは寒さに固まらず又拵で且つ味も好いのです次にジヤムもそのまま用ゐますと分量を要しますがこれもバタと同様牛乳を加へると味もよく大變經濟になります

日報歌壇

○冬日影　青林

朝の陽を暖なくうけて輝ける雪の
を急ぐ一筋の道

雪の野の櫟林は輝やかに山
く續きたる見ゆ

雪の上に影を落して飛び行きし鳥はうばうと峰越ゆる見ゆ

雪どけの朝の林静もりて啄木鳥の聲みちゐたるかも

縁側に並べて鷄がうす目をつぶり聲ぶかくして雪に輝く

○　旭町　矢野ひろ志

ひようひようと啼き鋭き鳥一羽雜の木立になきやまぬから

○

まひるさ大空指せる尖塔に影を殘して鳶はかくれぬ

○　正男

いねがての夜持つ故さわが心白ら許す朝のおこたり

戲れ歌を人々に和してわが歌ふ聲のさびしさわれのさびしさ

○　三ケ尻秋村

おりもからぬ影を求めてたまゆらの命を寄する世にもあるらむ

かくて我が旅ゐの空に老なんず世は夢なりこなげきなけきつ

我の潮のひゞきをきゝわびつかくて今年の冬もくれたり

日報柳壇

日

日本に生れ甲斐の振の袖　鸚子
鷄が鳴いて旭日が昇り　三貴子
大晦日猪首になつて青い息　梨軒
日蓮の理想世界を一つとし　同
日吉丸時代藤吉時代より　丁字
日光へ來て徳川が憎くなり　同
人力を盜し將軍日々拜み　雅月
義仲は粟津の原が夕日なり　鴻州坊
日の沈む方を清盛睨んでる　朝子坊
日本の言葉が出來て嬉しく　架空坊

日報俳壇

■洪城吟社詠草

辨榮れて戻る堤や星冴ゆる　木公石
大根曳き牛のあとより……　霙雨
火事消えて歸る人數や星冴ゆる　寸
炬燵して女ばかりの下間哉　無明
裸木と並ぶ小家や星冴ゆる　石楠
雨晴れて畑の落葉や大根曳き　鐘騎
灯火の冴えて厨の響きかな　一莖
來客の炬燵に對す休暇哉　涼火
大根曳く人に眞盤の影かな

■如水居小集句録(安東縣)

彫刻の眼に強き陽や水仙花　蔦蝶
汲水を濺し行く庭の粉炭哉　同
炭積みて暮日の裏戸掃きにけり　同
高く吊る樓の酒姿や水仙花　同
水仙や火に親まぬ母嬉し　小露
水仙花明るき窓を占めにけり　幽外
水盤の埃明るし水仙花　桐雨
水仙を生けて明るき書齋哉　如
野積場に炭高々と積れけり　靜

寒

(五の日十句會)

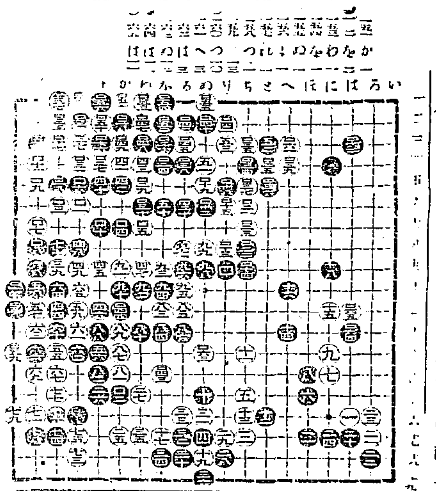
○寒電車載つて縛に我乗つこる　山興水
○寒の古里人の柿樹肉の乾き　阿岐良
○同値つてからの寒夜頓の　目池
○雜木寒晴れ一軒の眞向ふの入口　鳥堂
○寒野路口笛を吹き口笛に追ふ　不考郎
○寒餅を藁に吊して女らしく笑みつゝれ
寒が強い砂山の砂の陽くづ……

炭

○日中陰室の炭の跳ねて外出する　芹郎
○宵の炭火いらつ從弟たちは來ぬ　山興水
○曇り玻璃窓に立ちはね炭を知る　阿岐良
○炭をつぐやわ手の戰ぎを感ずる　踏秋
○我等吉天の炭屑踏みならすべし　目池
○炭納屋の寒の大樹にあつてほし　鳥堂

碁戰 (七)

三段　子　白　山平
二　南平



毒の病
=柏木スピナール=
◎梅毒、かんそ、よこね、淋病、其他林病毒淋疾リウマチス
◎新發明に係る注射液は高名なる柏木先生の最も強度なる一回顯著(?)なり
◎初發患者は云ふ迄もなく二期三期の悪性も五日目毎に一回の注射代用法にて發效す
◎病名記入申込め解說書密送す
東京淺草山ノ宿五一丁目　柏木房
手販賣特約　御希望の方は照會あれ詳細契約法を送る

鐵道拂下品販賣
冬羅紗洋服、外套
毛皮胴着並防寒具
軍隊拂下品一式
寺内製品長トンビ大小兩袖大羽婦人コート詰襟背廣洋服
和洋古衣服類各種
多少に不拘御用命被下度候
龍山元町二丁目
金子奥市商店
電話長一〇五番
振替口座京城二八二三

質　田村質店　電話二九一六番

横綱の味噌　ほまれ味噌

人蔘に優る強壯剤
淫羊藿エキス（いんやうくわくえきす）
通稱三枝九葉草エキス
適應症　一、思考判斷及び記憶力の疲勞を癒す　二、神經衰弱　三、筋骨ハ疼痛を癒し又疲勞を恢復す　四、産前産後及病後の衰弱
七、貧血症　八、手足腰の冷ゆるに良し　九、陰萎遺精及子宮病に良し
主効　神經衰弱　貧血症　腎臓病　肝臓病　胃腸病　ヒステリー　ヒポコンデリー　リウマチス　老衰　精力減退
定價　三十五錢入　五十五錢入　一圓入
全國一手販賣　京城日報社代理部　振替京城三〇〇番
京城特約店　山北島支店　大佐天堂

りん病　請合
はい毒　請合
京城南大門外停車場通　ドラッグ商會本部
黄金町三丁目電車通り　ドラッグ商會支店
日の出町兵站宿舎車交叉點前同支店
…あり注意詳細八日の本紙御覽

Overland TRADE MARK REG.

三千五百圓

昨年の賣高十五萬臺

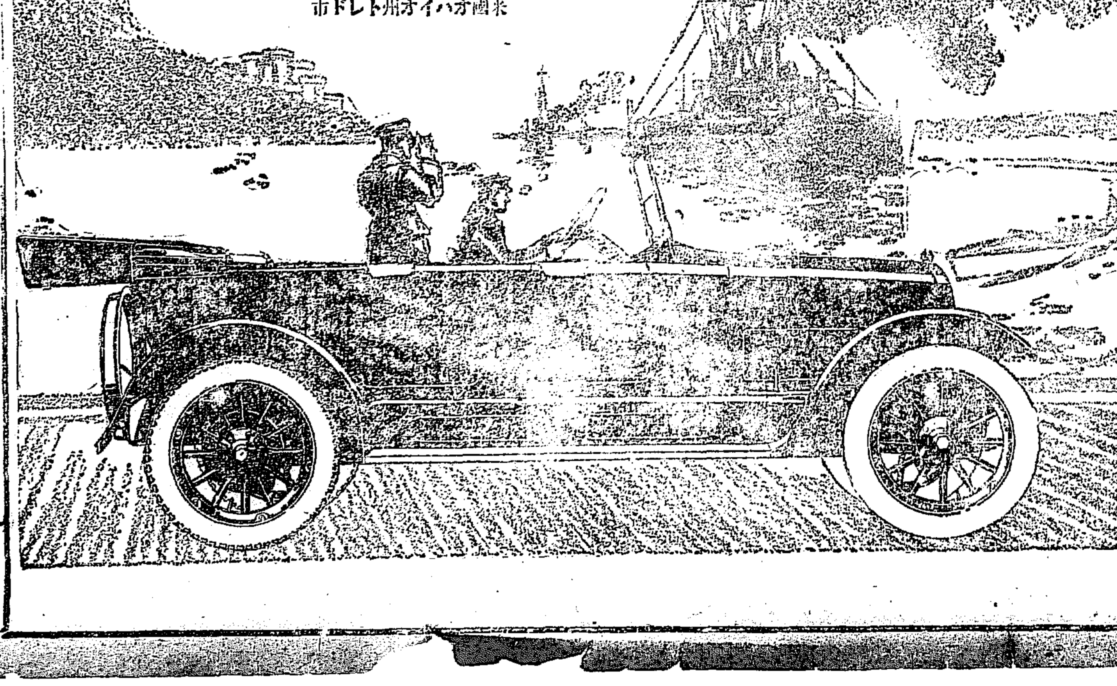
オーヴァランド自動車毎年の賣高は莫大也。世界各地に送られたるもの數千臺オーヴァランド自動車は國際的也。其製造の規模大なるが爲めに其價格は他に比較すべきものなし

外觀。運轉。乘心。實用。價格。此等理想的自動車の要點に於てオーヴァランドは勝利を占めたり。

例へは『八五フオア』型を見よ(下圖參照)動力大なれども運轉は極めて簡易にして小兒も尚之を能くすべし。堅實にして信頼すべく此自動車を所有して滿足し賞揚せざる人なし。

ゼーエッチーモリス
京城府貞洞拾九番地

ウイリス・オーヴァランド會社
米國オハイオ州トレド市



第五版

……十八錢と近來稀なるレコードを……やうになつた……

……論より打算すれば戰爭終熄の影響を……して居る……るものが寒くなれば長春十二萬五千……栗田驛も逆輸を示し奥地では大豆……も大連の工場にて一日十二萬枚……論の主張であつて賣方の崩れは……出運年の米高にて……極度に……し歐米諸國に於ける油脂の需要は……開戦たる矢はぬ(大阪)